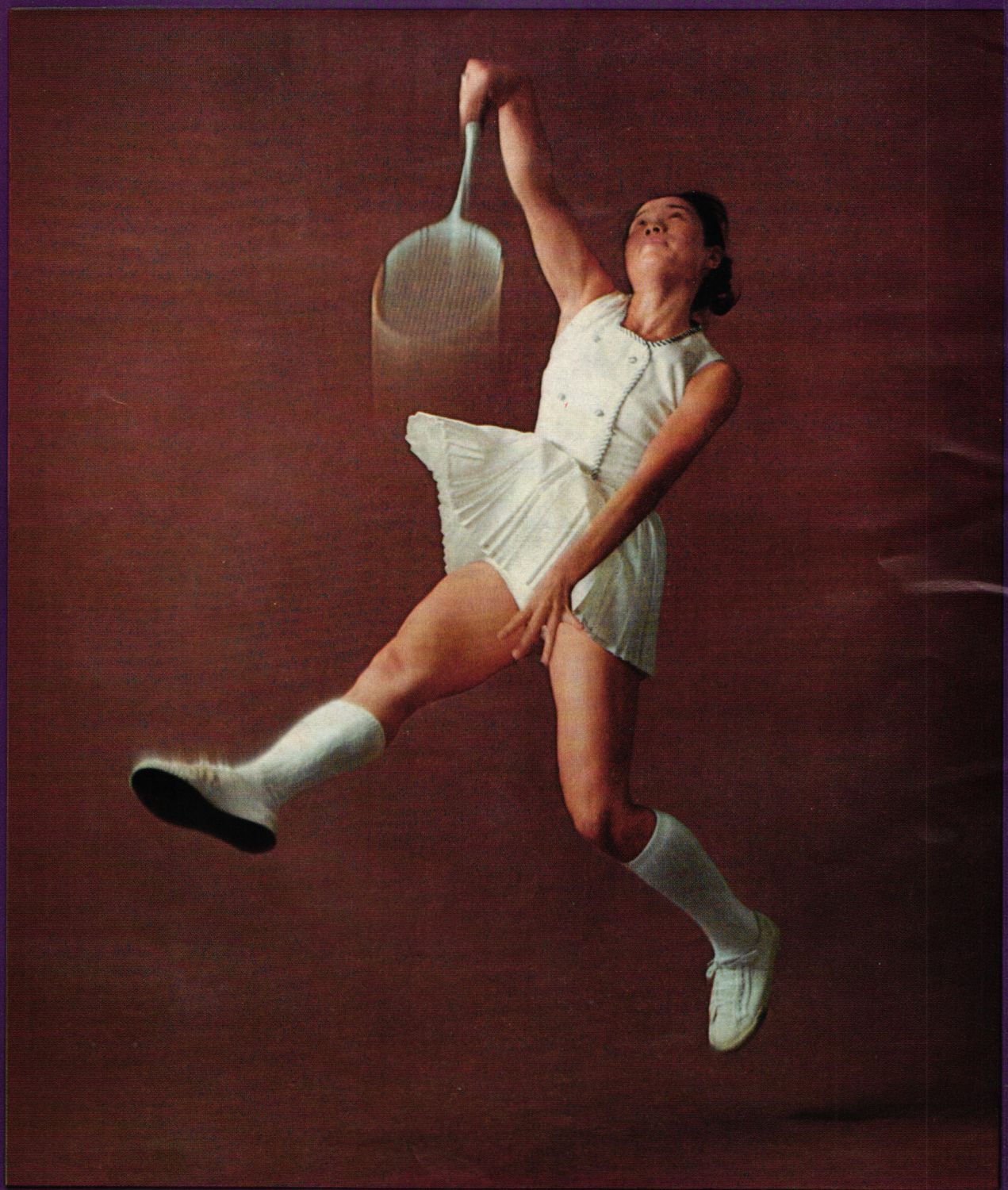
昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和45年10月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

no.14
1970
october



YONEYAMA RACKET

スマッシュ!



NO.8000

Alumina Hy-Power

アルミナハイパワー

アルミフレームに　アルミシャフト採用!!

軽い ——— アルミニウム合金の比重は約2.7で、銅の8.9や鉄の7.9に比べて⅓に過ぎず、非常に軽くリストの弱いプレーヤーに向きます。

強い ——— 特殊製法によるアルミニウム合金をラケットフレームに用い、鋼鉄に匹敵する強さが発揮されました。

弾む ——— 木製、スチール製に比較して柔軟性、反撥力が抜群。打球の初速が早く、更に加速が増加してすばらしいスマッシュが打てます。

YONEYAMA

株式会社 ヨネヤマラケット

全国運動具専門店でヨネヤマのラケットと御指定下さい。

私のひとこと

"死んだつもり"でかちとったインハイ出場権

天野博江（東海女短大教員）

色々な思い出の中で、忘れられないのはインターハイの県予選の出来事である。

ダブルスでパートナーの高木さんが右手の苦痛を訴え、その日のために汗水流してきたのに、あわや念願のインハイ出場の夢もこれで破れるか、と恩師、藤江稔先生と部員ともども、くやし涙にくれようとした時。

やってダメなら仕方ない、何とかやれるだけやってみたいという気持がムラムラと起り、先生にはバカヤロ!!と怒鳴られることを覚悟で「先生!! 高木さんにネット前にいてもらって、私一人で頑張ってみます。やらせて下さい!!」とお願みしてみた。

先生は怒るどころか「よしお前がその気ならやってみろ!!」とかえって励ましの言葉をいただいてしまったのである。先生も内心、くやしさで、どうしようもなかったところだったのだろう。

そしてパラリンピックみたいな試合。何とか決勝迄進出し、やっとインハイ出場権の獲得。二人とも苦しかった。つらかった。けれど、このやり終えた後の充実感、満足感は、それにも増す喜びを与えてくれた。本当に嬉しかった。

このことが私にひとつの教訓を与えてくれた。

人間、何事もやる気になってやる。自分を忘れ夢中になってやる。死んだつもりで最後まであきらめず頑張る。無欲で頑張る。そうすれば必らず得るものがある——と。

無欲——この時はインハイにどうしても出場したいという気持はあったが、もうこれが最後の晴れ舞台なんだから、三年間、汗と涙にくれた練習の成果をこの場で試さなくっちゃ、このままでは我々も終りだ。という気持の方が強く、とにかく、ぶったおれるまでやろうと思ったのがよかったのかもしれない。

精一杯、私としては本当に精一杯、自分の持っているものを出し切っての試合だったように思う。その後、夢にも思わなかった海外遠征や世界選手権大会に出場させてもらい、自分でもこわくなる程、恵まれた運のよさをつくづくと感じている。

何の取り得もなく、何をとっても人に勝るものはないが、がむしゃらに、精一杯、熱中して頑張るというファイトだけが、私の持つひとつの良さ——自分でいうのもおかしいがそう思っている。こんな私に目を向けて下さった人達に私は感謝の気持を忘れることが出来ない。

そして今、バドミントンをやって本当によかった、と心から思う。高木さんという素晴らしい私にはもったいないパートナーを得て、バドミントンにかけた青春に悔いはない。（第四、第五回ユ杯代表）

今月号のダイジェスト

◇競技関係◇教職員選手権、同じくインターハイ男子団体優勝校・富山商が日本代表として遠征した日韓高校大会。この二つを収録。岡村英男氏（日本協会審判副委員長）に「韓国の現状」をルポしてもらった。（6ページから）

◇関西学生界の現状は 近年、関西のレベルは、かなりダウンしているという。しかし、少なくとも女子は、東大阪短大を中心に関東にまさるとも劣らない実力を持っている。そこで、今夏の西日本学生選手権の概評に加え、関西学連の民谷憲二君が女子のホープを紹介した。（11～13ページ）これに関連、関東女子若手のホープといわれる漆畑（青学）を紹介。

◇国体代表決まる 第二十五回岩手国体が十月十日から行なわれる。代表は九月十三日までに出そろい、組み合わせ抽選が同日行なわれた。選手一覧、ミニ展望、組み合わせ、などを、特集してお届けする。（2～5ページ）

◇えっ、自衛隊でバドミントンだって? おどろいてはいけない。全国二万三千人がプレーを楽しみ、その数は日本協会の登録者を上回る。メンバーは、もちろん、隊員だけでなく技術、事務系職員もいるのだが…今後日本協会との協力関係が望まれている。（16～17ページ）

◇用具のあれこれシリーズはじまる バドミントン用具についての手引き、解説がほしいという読者の要望が強い。大部おまたせしたが、いよいよ今号から、このためのシリーズをはじめた。担当は日本協会用具委員長の松本弘充氏。今後、この記事についての質問、疑問もお待ちします。（23～24ページ）

◇その他のよみもの 読切りシリーズ「私の場合」は、もと日本チャンピオン真部（秋山）文子さんの登場。「北から南から」には偶然から部がつくられた、ある企業内のレクリエーション活動の話。「告知板」は和歌山の全日本実業団返上のいきさつを紹介。そのほか「絵でみるバド界のできるまで」など。



第二十五回国体の秋季大会は、十月十日から六日間、岩手県下で行なわれる。

バドミントン競技は釜石市の新日鉄体育館が会場となり、一般男子(47)、一般女子、高校男子、高校女子、教員男子（以上各10チーム）の五種別に熱戦を展開する。

各府県別の勢力分布は、これまでと決定的なちがいはないが、各種別ともに〝若い血〟が投入されており、これら新鋭がどのような活躍を見せるか楽しみである。

いずれにしても、個人競技であるバドミントンが、全種別にわたって〝郷土の代表〟というかたちで栄光をきそうのは、年一回の国体だけ、勝敗とはまた別に、競技のよさを発揮してらいたいものだ。

代表選手団を紹介するとともに、組み合わせ、簡単な予想をおとどけする。

一般男子

◇北海道

〔監督〕笠原一男（苫小牧工教）〔選手〕岩崎昭郎（地崎商事）中村富光（同）土江田忠（三川屋）

◇青森県

〔監督〕市川和司（東奥義塾教）〔選手〕小山内信一（弘前市役所）七戸那厚（弘前相互銀行）山田盛夫（八巻医院）

◇岩手県

〔監督〕金原良史（金原商店〔選手〕吉田寛（新日鉄釜石）伊藤誠（東芝商事盛岡特販）高橋道夫（新日鉄釜石）

◇宮城県

〔監督〕渡部紘一（尚絅女学院高教）〔選手〕三浦憲雄（仙台水産）井伊恵治（自衛隊）今野一男（宮城日産）

◇秋田県

〔監督〕川辺正勝（県財務事務所）〔選手〕三国屋滋一（まるみや呉服店）舟山一敏（協和石油茨島営業所）熊地春悦（十条製紙秋田工場）

◇山形県

〔監督〕板垣隆房（板垣商店）〔選手〕郷野隆弘（錦武道具店）沼沢利一（オビサン）安達敏一（山形市役所）

◇福島県

〔監督〕布引修二（県立会津中央高教）〔選手〕須藤博（三菱製紙）宗像津良（郡山鉄道公安室）菊地義朗（郡山操車場）

◇茨城県

〔監督〕岡本紀（鉾田第二高教）〔選手〕早川博（日立製作所）福田喜代志（同上）佐藤紘介（日立電線工場）

◇栃木県

〔監督〕松本弘充（宇都宮商高教）〔選手〕森田利一（宇都宮市役所）川上喜久（日本電信電話公社）三上隆康（富士重工）

◇群馬県

〔監督〕増田保夫（自営）〔選手〕井上英夫（松本精機）稲村浩（オタツヤ商店）浅野佳夫（三つ葉電機）

◇埼玉県

〔監督〕五十里光秋（川口女子高教）〔選手〕中山広明（北辰電機製作所）星野義昭（日本電信電話公社）平井克英（河崎ラケット工業）

◇千葉県

〔監督〕高橋重夫（千葉市立高教）〔選手〕森澄健夫（日立製作所）近藤繁（第一中央汽船）吉岡博美（日立金属）

◇東京都

〔監督〕堺栄一（河崎ラケット工業）〔選手〕鈴木健二（電々公社）池田信孝（同上）栂野尾昌一（ヨネヤマラケット）

◇神奈川県

〔監督〕吉良悠一（菊地回漕店）〔選手〕小島一平（ヨネヤマラケット）渡辺直人（横浜市役所）坂本聖二（カローラ神奈川）

◇新潟県

〔監督〕大里俊一（新潟南高教）〔選手〕大竹紘一（巽建設）伊藤喜和（新潟いすゞ自動車）瀬戸正広（日産火災海上保険）

◇長野県

〔監督〕小出沢悟（松本郵便局）〔選手〕伊藤尚臣（三協精機）河江伸育（大和ハウス）伊藤隆（松本市役所）

◇山梨県

〔監督〕田村博（甲府商高教）〔選手〕窪田恵三（甲府市役所）秋山真男（秋山紙店）野田秀応（野田商事）

◇富山県

〔監督〕川上洋一（不二越）〔選手〕高林弘則（奥野商店）寺前信之（日産サニー北陸販売）関村順治（高岡市役所）

◇石川県

〔監督〕新田正治（清水建設）〔選手〕松下力（北陸電気通信局）安江勉（津田駒工業）山本秀夫（同上）

◇福井県

〔監督〕梶谷将人（福井銀行）〔選手〕寺崎由雄（敦賀市役所）府岡弘（福井銀行）山本敏彦（福井市役所）

◇静岡県

〔監督〕中田稔（県立吉原工高教）〔選手〕平野孝雄（富士市役所）大石勝信（日産自動車）日下部敏弘（小糸製作所）

◇愛知県

〔監督〕後藤守（名古屋鉄道）〔選手〕安沢武司（トヨタ自動車工業）伊村隆（名古屋鉄道）樋口一春（同上）

◇三重県

〔監督〕吉川正孝（協和運輸建設）〔選手〕増井孝夫（三菱化成工業）小林信行（同上）山口香（富士電機）

◇岐阜県

〔監督〕上原章（羽島郡笠松町役場）〔選手〕森芳夫（川島紡績）河田満（大洋紡績）樋口光男（同上）

◇滋賀県

〔監督〕寺田壽（県立彦根西高教）〔選手〕西川伊平（彦根信用金庫）田中英明（皇子山ト

レーニングセンター）山口幸造（大日本スクリーン）

◇**京都府**

〔監督〕野村嘉明（島津製作所）〔選手〕福井達雄（三菱自動車工業）長谷川進（京都大丸）吉田憲一（京都中央信用金庫）

◇**大阪府**

〔監督〕青木昭二（府立茨木工業高）〔選手〕三木喬（電々公社）遠藤和男（スワロー化研工業）竹原茂（電々公社）

◇**兵庫県**

〔監督〕坂田正美（甲南堂書店）〔選手〕高馬哲（幡磨化成）久保田健司（日新電機）大竹節夫（ホープ自動車工業所）

◇**奈良県**

〔監督〕松尾良行（市立一条高教）〔選手〕野村安忠（ミワカン食品）河村憲一（奈良少年刑務所）開木弘安（天理市役所）

◇**和歌山県**

〔監督〕荒尾寔（自営）〔選手〕厚地収（住友金属）榎本勝（新宮市役所）坂本拡（住友金属）

◇**島根県**

〔監督〕井原平八郎（国鉄俊藤工場）〔選手〕向井文夫（国鉄鳥取車掌区）山崎厚夫（神鋼機器）山根秋雄（山根木型製作所）

◇**島根県**

〔監督〕増尾益吉（松江家政高教）〔選手〕船江昭浩（松江松下電器）岩田一（今村商事）山崎定利（島根ビーエス）

◇**岡山県**

〔監督〕蛇江優（三井造船）〔選手〕上野輝治（同上）芳上一男（同上）森口隆彦（岡山大学病院）

◇**広島県**

〔監督〕多田稔和（報国機械）〔選手〕占部栄一（日本化薬）青柳三義（ブリヂストン工業用品）杉原政人（山陽パール）

◇**山口県**

〔監督〕山県保夫（宇部興産）〔選手〕未広秀樹（同上）河添忠夫（同上）石川好夫（同上）

◇**香川県**

〔監督〕平尾正昭（国分寺町役場）〔選手〕吉川和孝（中南事）高尾博（同上）杉上有一（光洋精工）

◇**愛媛県**

〔監督〕佐伯光一（愛媛大学教）〔選手〕三好勝利（伊予酸素）八木優（日本通商）村上孝蔵（浪速設計事務所）

◇**徳島県**

〔監督〕新見泰志（西納小教）〔選手〕吉田栄助（県農協飼料）星加忠弘（神崎製紙）佐藤正俊（四国建通）

◇**高知県**

〔監督〕楠瀬正（窪川保健所）〔選手〕山本忠幸（山本木材店）武村守城（四国運輸）浜田幸男（愛媛相互銀行）

◇**福岡県**

〔監督〕三沢英二（北九州港管理組合）〔選手〕渕上英紀（北九州市役所）田中英世（東陶機器）山崎良治（無職）

◇**佐賀県**

〔監督〕古賀正義（多久市役所）〔選手〕渕上征人（佐賀板紙）中尾守（同上）高柳静夫（同上）

◇**長崎県**

〔監督〕前田国臣（三菱重工）〔選手〕平野勝也（同上）松野勲（同上）田中貞夫（同上）

◇**熊本県**

〔監督〕南直治（信愛女学院高）〔選手〕野々口清介（八代市役所）西岡一造（農業協同組合）高浜道雄（菊地市役所）

◇**大分県**

〔監督〕田中大也（日田市役所）〔選手〕春武俊一（同上）佐藤国晴（同上）宮原秀三（同上）

◇**鹿児島県**

〔監督〕目原克彦（鹿児島県庁）〔選手〕前薗俊哉（同上）厚ヶ瀬秋義（三井串木野鉱山）古薗俊隆（三孝製紙）

◇**宮崎県**

〔監督〕日高壮（宮崎市役所）〔選手〕松本行弘（同上）小倉文雄（同上）徳永英敏（同上）

◇**沖縄**

〔監督〕仲本朝昌（那覇市役所）〔選手〕宮井文彦（沖縄港運）宜志富紹英（沖縄大学）比嘉整二（同上）

一般女子

◇**北海道＝ブロック**

〔監督〕小飼栄一（小飼商店）〔選手〕谷浦久美子（サンスポーツおばら）松田起早（同上）高野美千子（地崎商事）

◇**岩手＝開催県**

〔監督〕白沢国雄（白沢商店）〔選手〕斉藤せつ子（千厩高教）及川恵子（県教育公務員弘済会）山内幸子（赤沢繊商）

◇**東北＝代表は秋田県**

〔監督〕加賀谷ユミ子（小泉薬局）〔選手〕鎌田光子（敬愛高教）佐藤ツギ子（敬愛高教）嵯峨愛子（秋田総合自動車販売）

◇**関東＝代表は栃木県**

〔監督〕柳田睦子（真岡農高教）〔選手〕松本昭子（真岡女教）石崎喜代子（真岡農高教）望月しづか（日本大洋海底電線）

◇**北信越＝代表は新潟県**

〔監督〕五十嵐明美（新潟中央高教）〔選手〕竹中悦子（新潟青陵短大教）相沢マチ子（同上）後藤和子（新潟電話局）

◇**東海＝代表は岐阜県**

〔監督〕和田直美（芥見小学校教）〔選手〕高木紀子（東海女短大教）天野博江（同上）桑原富士子（新興機械）

◇**近畿＝代表は兵庫県**

〔監督〕荻野一夫（三菱電機伊丹）〔選手〕池田栄子（三菱電機伊丹）篠山和江（同上）大竹由里子（同上）

◇**中国＝代表は山口県**

〔監督〕三原一郎（下関市役所）〔選手〕後藤妙子（大東漁類下関）永田美登里（日本生命下関）岡田智津子（下関大丸）

◇**四国＝代表は香川県**

〔監督〕東条義昭（高松琴平電鉄）〔選手〕山本真江（高松琴平電鉄）細川泰子（同上）山本みどり（百十四銀行）

◇**九州＝代表は長崎県**

〔監督〕喜多昭夫（三菱重長崎造船所）〔選手〕柿本彰子（三菱重工長崎造船所）徳永澄子（長崎丸尾中教）引地美千子（第一生命長崎）

教員男子

◇**北海道＝ブロック**

〔監督〕西村幸衛（札幌日章中）〔選手〕杉田茂良（札幌陵陽中）宮崎岩次（札幌幌南小）前田八郎（江別三少）

◇**岩手＝開催県**

〔監督〕志村正義（釜石第一中教）佐々木彦士（千厩高）佐々

木邦夫（岩谷堂高）永沢和彦（釜石北高）

◇東北＝代表は山形県

〔監督〕黒木武彦（県立山形北高教）〔選手〕永井司（竹田女高）鹿野昭男（県立米沢工）高山昌三（県立新庄南高）

◇関東＝代表は神奈川県

〔監督〕遠藤啓治（日本鋼管）〔選手〕杉田博（県立横浜立野高）中島三郎（藤沢市立高砂小）池成隆夫（県立商工高）

◇北信越＝代表は石川県

〔監督〕中島嘉禱（自営）〔選手〕北方匡（藤花高）原栄一（津幡高）松本忠之（七尾城北高）

◇東海＝代表は三重県

〔監督〕伊豆晃（県立松阪高教）〔選手〕大世古吉弘（県立伊勢工）南善雄（県立員弁高）高橋克彦（志摩町立御座小）

◇近畿＝代表は滋賀県

〔監督〕藤上良英（町立野州西小教）〔選手〕横田正俊（彦根市立南中）久保田良昌（大津市立逢坂小）藤原健二（野州町立祇王小）

◇中国＝代表は岡山県

〔監督〕高田浩二（天城高教）〔選手〕三宅勝（成羽高）柳本堯敏（藤田中）毛利清志（山陽学園）

◇四国＝代表は香川県

〔監督〕穐山正雄（県立盲学校教）〔選手〕森田桂示（県立善通寺一高）藤原和文（県立坂出工）新名教男（池田町立中山小）

◇九州＝代表は熊本県

〔監督〕本郷節生（熊本商大付高校）〔選手〕西田喜明（北部中）工藤勇参（熊本中央女）芦原健身（西合志中央小）

高校男子

◇北海道＝一ブロック

〔監督〕森正三（札幌工教）〔選手〕山口克志（札幌工）藤木幹男（同上）中川肇（江別）

◇岩手＝開催県

〔監督〕高橋忠夫（高善商店）〔選手〕高橋信夫（専大北上）佐藤壮（岩谷堂）佐藤吉雄（黒沢尻北）

◇東北＝代表は宮城県

〔監督〕高橋貞雄（県立工教）〔選手〕小原良雄（県立工）市川仁（同上）相原文弘（仙台育英学園）

◇関東＝代表は神奈川県

〔監督〕大木一郎（県立平塚商教）〔選手〕滝沢孝三（県立横浜緑ヶ丘）折井直則（関東学院六浦）小林良雄（逗子開成）

◇北信越＝代表は石川県

〔監督〕河原山晴夫（金沢市立工教）〔選手〕銭谷欽治（大聖寺）青山信吾（金沢市立工）竹村勇治（同上）

◇東海＝代表は三重県

〔監督〕水谷貞夫「県立伊勢工教）〔選手〕小林親（県立伊勢工）井崎雅弘（同上）槇野敏紀（県立宇治山田商）

◇近畿＝代表は奈良県

〔監督〕谷口彰（正強高教）〔選手〕巽康司（正強高）竹内信（同上）西川繁美（同上）

◇中国＝代表は山口県

〔監督〕三浦捷治（柳井商工教）〔選手〕坂本賢二（柳井商工）刈谷昭三（下関商）富田正四郎（下関中央工）

◇四国＝代表は香川県

〔監督〕鎌田紀夫（高松一高教）選手〕日下昇（高松一）横田泰徳（県立善通寺一）福崎広文（同上）

◇九州＝代表は長崎県

〔監督〕中里克彦（瓊浦高校）〔選手〕大束歳文（瓊浦）佐藤彰（同上）伊藤孝洋（同上）

高校女子

◇北海道＝一ブロック

〔監督〕奥山皓之（札幌北斗高教）〔選手〕有田由美子（札幌北斗）菅野裕子（同上）村上政子（札幌静修）

◇岩手＝開催県

〔監督〕細野健次郎（盛岡機関区）〔選手〕洞口美奈子（釜石南）伊藤洋子（同上）小野寺札子（盛岡市立商）

◇東北＝代表は福島県

〔監督〕永井祥一（平商教）〔選手〕作山美代子（平商）伏見香代子（同上）助川ひとみ（同上）

◇関東＝代表は栃木県

〔監督〕遠藤稔男（真岡女高教）〔選手〕藤井幸子（真岡女）小林敏枝（同上）池田静江（同上）

◇北信越＝代表は富山県

〔監督〕石原常正（藤園女高教）〔選子〕山森明美（藤園女）荒俣浩子（高岡女）島田千代子（同上）

◇東海＝代表は静岡県

〔監督〕栗田俊行（富士市役所）〔選手〕平野克枝（県立吉原）仁藤美代志（同上）鈴木千鶴子（同上）

◇近畿＝代表は大阪府

〔監督〕片岡輝明（四条畷学園高教）〔選手〕西尾真理子（四条畷）秋本八代美（同上）秋本幸子（同上）

◇中国＝代表は岡山県

〔監督〕山上周之（山陽学園教）〔選手〕石田雅子（山陽女）吉田孝子（同上）剛迫ミエ子（同上）

◇四国＝代表は香川県

〔監督〕喜岡恒雄（県立善通寺一高教）〔選手〕川東秀美（県立善通寺一）森清美（同上）田所静子（同上）

◇九州＝代表は長崎県

〔監督〕稲田勝（長崎商教）〔選手〕宮田由美子（長崎商）樋口省子（同上）川本久子（鶴鳴女）

国体ミニ展望

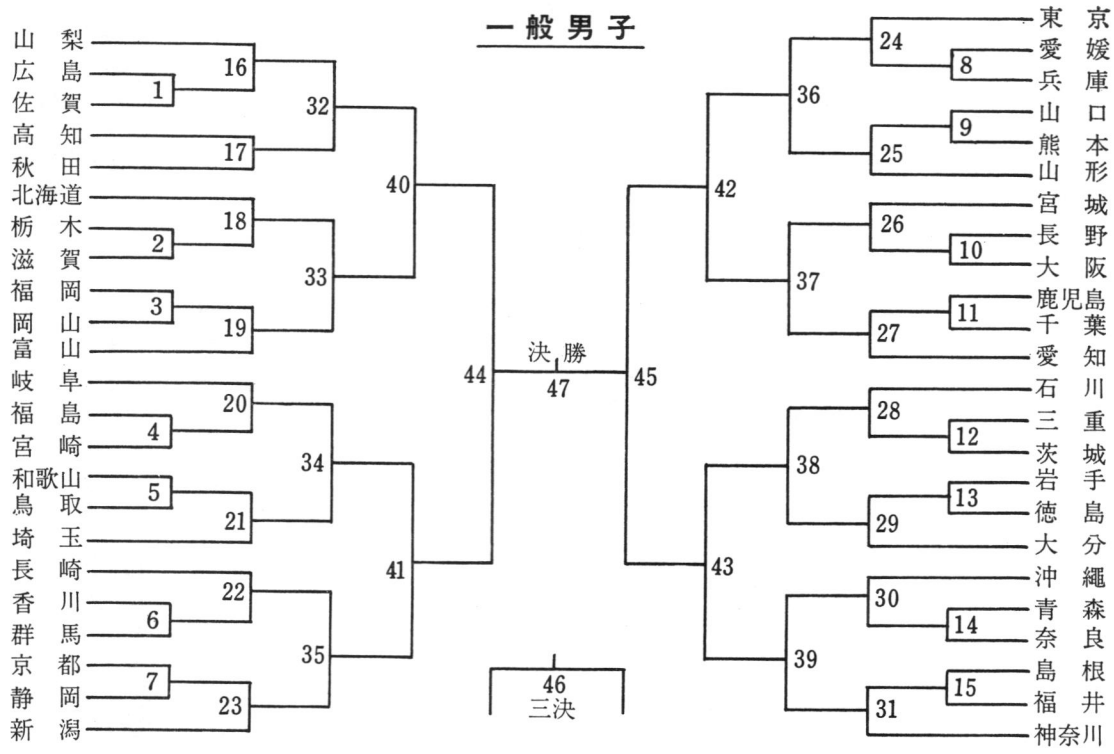
〔一般男子〕鈴木、池田（電々）栂野尾（ヨネヤマ）の**東京**、小島（ヨネヤマ）坂本（カローラ）の**神奈川**、秋山（自営）の**山梨**、それに伊藤（いすず）大竹（巽建設）の**新潟**、森（川島紡）河田（大洋紡）の**岐阜**の勝者がベスト4だろう。

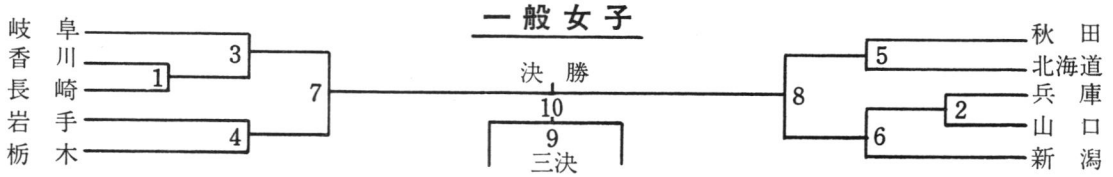
〔一般女子〕竹中、相沢（青陵短大）後藤（電話局）とそろえた**新潟**の優勝の濃厚。対抗馬は**高木**、天野（東海女短大教）の**岐阜**、アナは池田・篠山（三菱）の**兵庫**だろう。

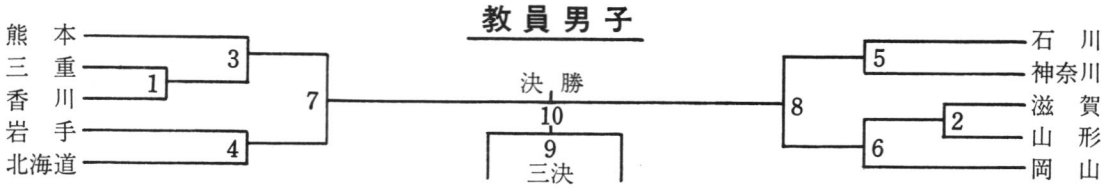
〔高校男子〕インターハイとかなり顔ぶれがちがう。また混成チームも多いので予断は許されないが、まず正強勢で固めた**奈良**、伊勢工トリオが出る**三重**それに金沢市工と大聖寺、銭谷の**石川**が有望。

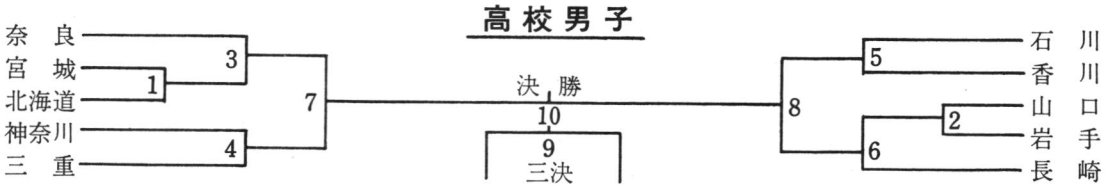
〔高校女子〕大阪（四条畷）と**栃木**（真岡女）の対決。一人一人の実力では大阪、斗志で栃木というところ。

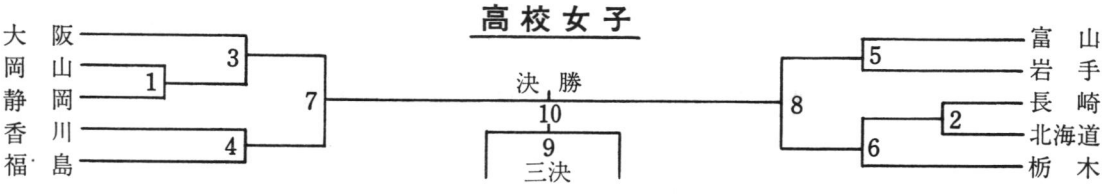
〔教員男子〕工藤・芦原の**熊本**がトップ。対抗は**岩手**、続いて**石川**、**岡山**あたり。


一般男子
山梨
広島
佐賀
高知
秋田
北海道
栃木
滋賀
福岡
岡山
富山
岐阜
福島
宮崎
和歌山
鳥取
埼玉
長崎
香川
群馬
京都
静岡
新潟
東京
愛媛
兵庫
山口
熊本
山形
宮城
長野
大阪
鹿児島
千葉
愛知
石川
三重
茨城
岩手
徳島
大分
沖縄
青森
奈良
島根
福井
神奈川
決勝
三決


一般女子
岐阜
香川
長崎
岩手
栃木
秋田
北海道
兵庫
山口
新潟
決勝
三決


教員男子
熊本
三重
香川
岩手
北海道
石川
神奈川
滋賀
山形
岡山
決勝
三決


高校男子
奈良
宮城
北海道
神奈川
三重
石川
香川
山口
岩手
長崎
決勝
三決


高校女子
大阪
岡山
静岡
香川
福島
富山
岩手
長崎
北海道
栃木
決勝
三決

第九回全日本教職員選手権大会

男子団体、熊本が四連覇

岩手も健斗、決勝進出果す

第九回全日本教職員選手権大会は、インターハイに続いて、八月四日から七日まで、岐阜市の岐阜県民会館で行なわれた。

団体戦の一般男子、成壮年男子は、ともに熊本が優勝した。一般は四連勝、成壮年は初。一般女子はユ杯コンビ高木・天野を持つ岐阜が六連勝を飾った。

個人種目は年齢別を合わせ、十一。一般男子は単が熊本の工藤（三度目）複が岡山の三宅、柳本（初）。一般女子は単が高木（七連勝）複は高木・天野（七連勝）で、高木は団体と合わせ〝三冠〟。

男子年齢別の30歳単は秋田の鈴木（六連勝）複は熊本の南・西田（初）、40歳単は福井の畑（初）複は岡山の毛利・山上（三連勝）。50歳単は熊本の伊藤（四度目）、伊藤は複も勝ち（三度目）団体と合わせ〝三冠〟。混合複は清水・飯田（富山）が二連勝した。（**記録詳報はレコード欄に**）

団体戦

◇一般男子

▽準決勝

熊本　3－1　富山

岩手　3－2　東京

▽決勝

熊本　3－0　岩手

○工藤　2（15－6）
芦原　2（15－9）
0　佐々木

西田　2（18－17）
○中村　2（15－6）
0　永沢
清水

○工藤　2（15－10）
2（15－2）
0　佐々木邦

熊本が安定した力で四連勝を達成した。準決勝での富山戦で複1対1、第一シングルスの西田（熊本）対紙谷（富山）はゲーム・オールの接戦を演じたが、ファイナルで紙谷の力が尽き熊本は貴重な点をあげた。

岩手東京戦は、関（東京）が発熱のため出場せず接戦。第三シングルスの佐々木彦（岩手）対西城（東京）の決戦となった。第一ゲームを簡単にとった西城が、第二ゲーム8対2とリードし、一時は東京の決勝進出かと思われたが、バックにきたクリヤーを相手のフォアへスマッシで打ち返したとき、突然左足をけいれんし、このゲームを捨て、佐々木にサービスをさせてインターバルを迎えた。しかし、充分な回復をみせず第三ゲームを棄権し、岩手の決勝進出となった。

決勝は、四連勝をめざす熊本と今年国体開催県の岩手教員男子チームの対戦となった。第1複は、工藤・芦原組のダブルス・フォーメーションが一段と進歩し、芦原の凡ミスも少なく、疲労しているとはいえ、昨年以上に力強さを感じさせる佐々木・佐々木組を2－0で破った。第2複もやゝ力のある熊本勢が押し気味に試合を進め、複で2点先取した。第1単は、工藤対佐々木邦で戦われたが、佐々木の必死の抵抗も工藤には通ぜず、結局3－0で熊本に凱歌があがった熊本の四連勝。

ユ杯コンビで岐阜が六連勝

◇一般女子

▽準決勝

岐阜　2－0　栃木

東京　2－1　長崎

▽決勝

岐阜　2－0　東京

高木　2（15－2）
○天野　2（15－0）
0　市古

○高木　2（11－0）
2（11－2）
0　功刀

岐阜が難なく六連勝を達成。準決勝での岐阜対栃木戦は、一方的な岐阜の勝ち。一方の東京対長崎戦は、ダブルスの第1ゲームが勝敗のヤマだった。徳永・山下組に昨年の冴えが見られず功刀・市古組の東京に破れた。単でな、徳永・功刀がそれぞれ勝って星を分け、2－1で東京が決勝に進んだ。

決勝は岐阜対東京の間で争われ、複を難なく勝った岐阜は、第一単に高木を、東京は功刀をたてて戦ったが、功刀に今までの気力・粘りが感じられず高木の完勝であった。これで岐阜は女子団体種目創設以来六連勝。立派なものである。

熊本は成壮年も制す

◇成壮年（男子）

▽準決勝

千葉　2－1　北海道

熊本　2－1　東京A

▽決勝

熊本　2－1　千葉

南　○8－15
本郷　○16－18　2　田中
○伊藤　2　15－0　牧野○
沢田　2　15－5　0　高橋
0　河辺

○南　2（15－4）
15－12　0　田中

成壮年団体は岡山の三連勝が実現されるかどうかに大きな焦点があり、これを阻止するところは東京、大阪、熊本、北海道のいずれであるかに興味があった。しかし、岡山は意外にも伏兵千葉に対し準々決勝で1対2で破れ、早くも敗退した。

30単の田中（千葉）対小松（岡山）戦は壮烈な激戦を演じ、ファイナル・ゲームで田中が後半リードされた小松に追いつき、辛勝した。

準決勝に進んだ千葉は、北海道にも30複・30単を勝ち決勝に進んだ。熊本は一方の、準々決

勝で大阪を破り、その勢いで東京Aに挑み、30複・40複と連取し決勝に進出した。

決勝は千葉対熊本で争われ、30複の田中・牧野組と南・本郷組は、千葉田中・牧野組の攻撃がすぐれ2ゲーム先取して勝。40複は、千葉高橋・河辺組が第2ゲームこそセッティングで競り合ったが実力のある熊本伊藤・沢田組に屈し、勝敗は30単の田中・南戦に持ち越された。決勝進出まで殆んど一人の力で勝ち残ってきた田中は対南戦ではコート中央に立っているのが精いっぱい。千葉は熊本に惜敗し、熊本の初優勝を許した。

男子単、工藤若さの三連勝
高木(女子)はまたも単複

個人戦

◇男子シングルス　一般

▽準決勝

杉田（神奈川）2（15－8 15－5）0 三宅（岡山）

工藤（熊本）2（15－4 15－5）0 森（和歌山）

▽決勝

工藤 2（15－3 15－6）0 杉田

一般男子単は、第一シードの関が棄権したため、工藤の楽勝であった。準決勝では、工藤対森（和歌山・近大新卒）、杉田（神奈川）対三宅（岡山）で争われた。工藤対森戦も、杉田対三宅戦も第一ゲーム中頃まで互格の勝負であったが、前者は工藤、後者は杉田がうまい試合運びをみせ、自分のペースに相手を引き込み、そのまま押し切り続けて第二ゲームも勝った。

決勝は工藤対杉田。かつて工藤が初優勝をした富山県高岡大会の再現がみられたが、今年の社会人大会（5月千葉市）男子単四位の実績をもち、体調も充分な工藤の圧勝に終った。工藤はこれで三度目の優勝。

◇一般男子ダブルス

▽準決勝

工藤 2（15－13 1－15 1）瀬戸 関（東京）

芦原（熊本）2（15－9 15－12）0 清水 三宅（岡山）

柳本 2（15－10 15－12）0 正木（富山）

▽決勝

三宅 2（14－15 15－12 17－15）1 工藤

柳本 芦原

過去2連勝の北方・原組（石川）が関・瀬戸組に、昨年四位の横田・藤上組（滋賀）が工藤芦原組に、各準々決勝で敗退。

準決勝では、関・瀬戸組×工藤・芦原組、清水・正木組（富山）×三宅・柳本組（岡山）が対戦し、前者は、フルゲームの末、工藤・芦原組が関の調子のもどらないうちに勝敗を決め、後者は準々決勝で調子をあげた三宅・柳本組が勝った。

決勝は追いつ追われつのシーソーゲームが演じられ工藤・芦原組やや有利かと思われたが、ファイナルの後半、三宅のスマッシュが決まり14点オールのセッティング。工藤組さらに2点先取してマッチポイントを握った。しかし、どうしても1点がとれず、加えて芦原のレシーブ・ミスが重なり、結局、三宅組の初優勝を許した。

◇一般女子シングルス

▽準決勝

高木（岐阜）2（11－0 11－0）0 徳永（長崎）

天野（岐阜）2（11－4 11－5）0 鎌田（秋田）

▽決勝

高木 2（11－2 11－1）0 天野

一般女子単は、飯田（旧姓裕）が棄権し、高木×天野の同士打ちでの決勝となった。本大会六度目の対戦だが、やはり、まだ高木の力が強く、難なく七連勝を飾った。天野の勝敗を最後まであきらめない精一杯のプレーは、後進の模範とすべき態度ではないかと思う。

混合複は、清水・飯田（富山）の二連勝であった。決勝は清水・飯田組と地元岐阜の上原・天野組の対戦で、上原が準々決勝で対鈴木・鎌田組戦で体力を消耗し、昨年よりやや力の衰えのみえる清水・飯田組に抗するすべもなく敗れた。攻撃力、守備（岐阜）鎌田 永原（富山）2（15－5 15－11）0 功刀 市古（　）

▽決勝

高木（岐阜）2（15－5 15－1）0 飯田 永原

◇混合ダブルス

▽準決勝

清水 飯田（富山）2（15－5 15－5）0 北方 藤井（石川）

上原 天野（岐阜）2（15－4 15－13）0 松田 徳永（長崎）

▽決勝

清水 飯田 2（15－9 15－8）0 上原 天野

（長崎）功刀 市古（　）

逆説〝孫子の兵法〟？

本年度社会人大会40才以上男子単優勝の毛利清志選手（岡山）が、教員大会同種目の決勝で、畑忠雄（福井）選手にゲーム・オールの末敗れた。これをみてAさんいわく。「俺と対戦したため毛利選手は疲れたのかな？」と。

周りの人々、ギャフン。いや選手たるもの、このくらい自信がなくてはネ。

読者への挑戦

男子ダブルスのとき、主審がサーバーのオーバー・ハンドを宣告したが、それよりも早く、レシーバーがラッシングを開始していた。

サーバーは、「フォルトをしたのは自分だけではない」と主審にアピールした。主審は判定に困り、審判長にその是非を尋ねたが諸君ならどう判定しますか？

（編集部から）おわかりの方は、はがきに答えと理由を書いてお寄せ下さい。わかればもちろん審判以上!?

力とも清水組がまさっていた。

◇年令別決勝

▽30歳以上男子シングルス

鈴木（秋田） 2（15－8 / 15－5）0 南（熊本）

▽同ダブルス

南 15－8 / 0 鈴木
西田 2（15－11）0 脇坂
（熊本）　（秋田）

▽40歳以上男子シングルス

畑 14－15 / 2（15－4 / 15－5）0 毛利
（福井）　（岡山）

▽同ダブルス

毛利 15－2 / 2（15－1）0 平田
山上 今井
（岡山）　（東京）

▽50歳以上男子シングルス

伊藤 2（15－0 / 15－0）0 佐藤
（熊本）　（北海道）

▽同ダブルス

伊藤 15－0 / 2（15－4）0 坂田
佐藤 浅田
（熊・北）　（大阪）

30歳以上男子単は、鈴木（秋田）の六連勝。鈴木×南の決勝は、昨年以上に白熱化したゲーム展開であったが、ゲーム運びスマッシュ力にすぐれた鈴木が社会人大会に続いて優勝。

同複は過去二度にわたり二連勝している鈴木・脇坂組が念願の三連勝をめざしたが、またもや南・西田組の若さの前に敗れた。南組は初優勝。鈴木組の敗因はレシーブ力の甘さか。

40歳以上男子単は畑の初優勝。毛利は例年になく活気がみられなかった。ゲームを先取したものの第三ゲーム中頃から急に疲れをみせ、四連勝を阻まれた。しかし毛利は山上と組んだダブルスは四連勝を飾った。

50歳以上男子は、予想どおり伊藤が単複を制した。

30歳以上女子は昨年に続き申込があり、しかも二名だったが大坪（兵庫）棄権で、鳥井（兵庫）の初タイトル。ダブルスは棄権で成立しなかった。

総評

指導者としての研修 〝場〟の確立も必要

大会競技委員長
岡村英男

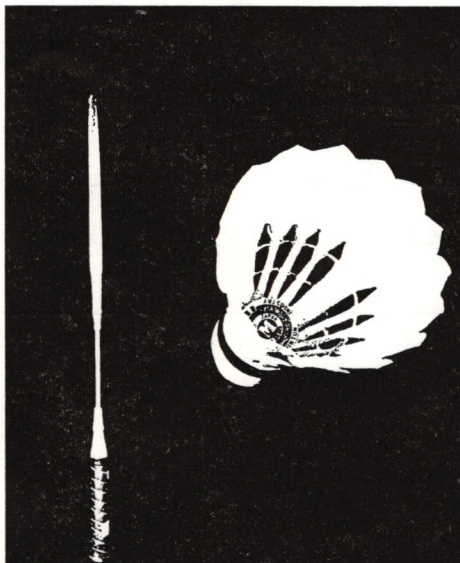
教員大会も第九回、来年は一区切りをつける十回目を迎える。第一回から見れば、参加者も増え、試合内容も充実、私達教員の技術研修にも大きな意義があると考えられるが、残念ながら、まだ、全国には、未参加県が多くある。

バドミントン普及のためには、多くの技術者が必要だ。指導者の大部分は教員に頼っている現状で、指導者自身の技術研修・理論研修が小さい粋の中でしか果たせない所に問題がある。

指導者とちての指導方法、指導理論など、大会参加中に、北海道・九州など全国各地の指導者と膝を交えてじっくり話し合えるようになることが大切なのではないだろうか。

女子の参加が少ないのも物足りない。とくに30歳以上の女子の指導者が少数であることは、競技の後進性を思わせるが、女子は現在、世界選手権保持国なのだ。女子自身もっと誇りをもって永続的な指導者たらんと志して貰いたいものである。

来年の岡山大会では、この大会がさらに進歩発展することを期待している。



N.B.I. の C.M. BRAND

バドミントンの気品
CMの風格

〝ご存じですか〟

★ 我国でシャトルコック製法を一番先に機械化して水鳥シャトルを普及したのはCMです。
★ N.B.Iはバドミントン普及発展のために製造から直売システムです。
★ 現金でお申込になれば卸価格でお求め出来ます。

日本バドミントンインダストリ株式会社
東京都三鷹市井ノ頭4－8－7　TEL 0422（47）3331（代）－3

日韓高校大会報告

岡村英男

日本（富山商）2戦とも勝つ

レベル、実力ともにかなりの差



▲大会のポスター

日韓高校スポーツ交歓競技会は、八月十九日から三日間、ソウルで開かれ、バトミントンは日本からインターハイ（全国高校選手権大会）の男子団体優勝校、富山商チームが参加した。

競技は二度行なわれ、富山商は第一戦（対中京商高）に3―2で、第二戦（対大洋工、徽文高連合軍）は5―0で、それぞれ勝ち、実力を発揮した。

以下、この大会に日本協会から派遣された岡村英男氏に、熱戦のもようや韓国バトミントン界の実情を報告してもらった。

◆第一日（8月19日午後三時、ソウル市YMCA体育館）

日　本　3（複2―0　単1―2）2　韓国（中京高）

○松島　森田　2（15―1　15―2）0　金孝賢　金栄会○

○西村　新村　2（15―1　15―4）0　曹永鍾　李先谷○

○松島　2（15―15　15―10）0　金孝賢

村西　0（9―15　4―15）2　曹永鍾○

田辺　1（10―15　8―15　15―11）2　季先谷○

韓国、複の基本欠く

体育館はコート三面がとれるだけの小さなもの。しかし、スタンドいっぱい五百人の観客が猛烈な声援を送る。

松島、森田組はスピードあるドライブ、スマッシュで攻め、相手が浅く返球するとすかさず角度のあるスマッシュで決め、わずか15分で片づけた。

第二ダブルスの西村へ新村組と対戦した曹、金組は韓国高校複優勝ペア。だが日本は第一ゲームはサービス権を三度与えただけ、第二ゲームは2―3から7点連取するなど逆転した。

韓国のダブルスはフォーメーションが未完成であり、シングルス・プレーヤーが二人適当に動いている感じ。基本的作戦、ストロークも不充分だ。

第一シングルス松島は圧勝、スマッシュをレシーブするのに相手のラケットはシャトルと10―20㌢も離れていた。

勝敗が決定、日本は西村を村西、森田を田辺に変えた。しかし村西は県大会より大きい試合は初めてで実力を出し切れず、田辺はファイナルで疲れた。

◆第二日（8月21日）

日　本　5（複2―0　単3―0）0　韓国

○松島　森田　2（15―0　15―0）0　季鐘湘　沈成植（徽文高）

○西村　2（15―2　15―4）0　金正来

○田辺　2（15―10　15―10）0　金烋完

○村西　2（15―1　15―7）0　季在栄

新村　2（15―6　15―4）0　金正来　季在栄（大洋工）

第二戦は完勝飾る

第二日は5―0と完勝であった。

第一ダブルスの韓国ペア金・季組は昨年の大会で来日し、金沢市工、日大鶴ヶ丘と対戦した経験をもっているが、当時より技術の伸びはみられない。

西村組は午前中の練習試合では調子がよかったが、本ではすべり出しにミスを連発、互角の感さえあった。しかし中盤からペースをとり戻し、楽勝。

第二複は日本が総体優勝、相手は韓国高校三位。力の差は明らかで、日本は一方的に打ちまくった。スピードを変えたストレート、クロスのスマッシュ、


▲試合開始前の日本選手団

選手団

▼監督　不破　裕（富士商高教諭）▼選手　西村美鶴、新村秋男、松島信之、森田勉、村西清文、田辺修一（いずれも富山商高三年）

▼日本協会派遣役員　岡村英男（常務理事、審判副委員長）

相手のボディをねらったプッシュ、ラッシングと多彩な攻撃に終始した。

第一単、西村の速いクリヤーやドロップを、金は足を使ってよく粘った。しかしプレー全体は荒けずりで、かなり無理なことをやる。ふだん陸鳥シャトルを使っての練習なので、水鳥のスピードについていけないのではないか。

3—0で勝負がついたので、日本はまたメンバーを変えた。

田辺は三度目とあって、かなり落ち着き、終始リードを保った。村西もプレースメント、アンティシペーションとも第一戦とは見ちがえるほどよく、やはりストレートで勝った。



▲日本選手のベンチ

保健衛生・健康管理　渡韓四日前、釜山郊外でコレラが発生したと新聞が伝え、体協はじめ心配したが、予防注射をうてば何とか安心というところで予定通り出発した。韓国側も日本選手団に対し充分、配慮、食事、飲料水その他に気をくばった。

食事は、できるだけ日本食にするよう配慮、韓国特有のニンニク、トウガラシは極力、避けてくれた。生水も飲まないように、冷い麦茶を選手村の食堂、会場に準備してくれた。

健康管理では、環境や食事の変化による障害に注意した。高校生なので食欲が減退するものもなく安心した。一人、便秘症状をおこした選手がいたが、大事にいたらずにすんだ。

韓国の現状

人事も若返り

大韓バトミントン協会は本年四月、人事を一新し会長に韓沃申氏（検察庁検察部長）専務理事に金知鶴氏を選んで若返りを図った。

現在の登録会員は年間約七百人。予算は約一千万ウキン（約一千万円）ほとんどは幹部が積極的に寄付を集めてまわった結果だ。

会員の大半は高校生、残りは半々ずつが学生と社会人。そこで競技人口の急増を計るため、来年度から中学の学習指導要領を改正、これで学校生の底あげ、大学生のレベルアップにつなげる計画だ。

しかし、韓国の競技界発展を阻止する要因が三つある、と関係者は説明している。

第一は用具。原毛がないため水鳥シャトルの製造ができない。北鮮（朝鮮民主主義人民共和国）との対立、対抗から、共産圏からの輸入が禁ぜられており中共の原毛も入手できない。台湾からでは、業者が日本と争うほど資本力がない。また、陸鳥は競技人口が少ないが国内製造も引き合わぬらしい。

ラケットも同様。ソウル市の有名デパートで売っている選手用ラケットは、日本で〝セット〟で売っているもの。ムレームは合板といっても、単なる板の張り合わせであり、グリップを巻くものはビニールだった。これで六百ウオンもする。

外国製品はすべて関税がかけられる建て前なので、選手みんながいいラケットを使えるとは限らない。今日の訪韓にさいし業界から日本バトミントン協会を通じ寄贈してもらったシャトル、ラケットは大変喜ばれた。誌上を借りてお礼申し上げる。

さて第二は施設。室内体育館を使う競技が盛んなのはハンドボール、バレー、バスケット、卓球があって、バトミントンはその下に甘んじている。だから練習場探しにも苦労する。

第三は指導者の不足。大学でバトミントンをやった人が、社会人となった。普及の力に役立ちたいと考えても、ここに述べた〝二つのカベ〟にぶち当たり、坐折する例が多いという。教員で、学校体育の中でバトミンを指導しているものも、非常に数少ないらしい。

以上、三つの障害の解決が急務とされるわけだが、協会関係者は、力強い意欲を持って一つずつ問題を解決しようとしている。

そして　つとめて国際経験を高めるため、トマ杯、ユ杯、アジア大会、国際学生、アジア選手権などには、進んで参加しようとしている。このエネルギーは十年前の日本のバトミントン界を見るような感がある。

韓国のバトミントン界が、今後、日本をはじめ各国との交流を深め、ますます発展の一途をたどることを期待している。

用具不足などに問題
競技人口の増加に強力な中学対策



西日本学生選手権

山口、柴山が〝二冠〟制す

男子近大、女子東大阪が上位独占



東京・保谷、飯野淳君枚稿

柴山（女子単）抜群の強さ　許したポイント、五試合で13点

第十回西日本学生選手権大会は七月二十一日から四日間、岐阜市の岐阜県民体育館で行なわれた。男子シングルスは山口へ近大）同ダブルスは山口、岩田組（近代）が、女子シングルスは柴山（東大阪）同ダブルスは柴山、石崎組（東大阪）がそれぞれ初優勝を飾った。

＊　＊　＊

試合前の予想では、男子は近大、女子は東大阪勢が上位を独占するだろうといわれていた。結果はその通りで、近大は単複ベスト4計八つのうち六、東大阪は同じく七つをものにし、その強さをほこった。

ただ、これを逆にいえば、この二校と他校の間にレベルの差がありすぎるのは問題だ。総体的にみて、一方的な試合の方が白熱したゲームよりも多く目につき、盛り上がりを欠いた。

この中にあって、ほとんど無名に近い岡山大の高木が強豪を連破して堂々、二位に食い込んだのは一服の清涼剤。女子の柴山の強さも抜群であり、シングルスでは決勝まで五試合に、わずか13点しか許さなかった（もちろん落としたゲームなし）。東大阪は、この柴山を中心にコマがそろっているので、秋のインカレで、どこまで関東勢をきりきり舞いさせることができるか楽しみであった。

全体の印象としては、関東の大会にくらべ、試合に対するがめつさに欠けた点が見受けられた。とくに関東よりレベルの上で数段の開きがあるといわれる男子に対しては、この際、もっとがめつさ、執念、気力といったものを要求したい。

なお、運営面では、コート数日数に比して試合数そのものが少かったせいか、近来になく時間の余った大会だった。関係者の工夫がほしかった。（**高木紀子、河田満、森芳夫**）

〔男子シングルス〕

▼準々決勝

山口2（15—8　15—3）0小林（関大）
植田（近大）2（15—6　6—15　15—10）1平松（愛敬大）
高木（岡山大）2（15—3　15—1）0池本（近大）
岩田（近大）2（15—3　6—15　15—7）1宮崎（同大）

▼準決勝

山口2（15—1　15—6）0植田
高木2（15—3　15—8　16—18）1岩田

▼決勝

山口2（15—3　15—5）0高木

〔男子　ダブルス〕

▼準々決勝

山口2（岩田）（15—3　15—10）0山内（近大）小田（関学）
米納（宮崎）2（同大）（18—16　15—8　8—15）1小林（関大）阪本
中西（植田）2（近大）（15—9　11—15　15—11）1荒木（京大）梅本
小野（足立）2（近大）（17—16　15—11　10—15）1堀（名商大）後藤
山口（岩田）2（15—13　15—12）0米納（宮崎）
中西（植田）2（15—12　15—4）0小野（足立）

▼決勝

山口（岩田）2（17—15　15—9）0中西（植田）

〔女子シングルス〕

▼準々決勝

柴山（東大阪）2（11—3　11—0）0中村（金沢）
大場（東大阪）2（11—6　11—5）0及川（東大阪）
高崎（東大阪）2（11—3　11—1）0桝田（武庫川）
石崎（東大阪）2（11—3　11—6）0岩田（大樟蔭）

▼準決勝

柴山（東大阪）2（11—3　11—0）0中村（金沢）
大場（東大阪）2（11—6　11—5）0及川（東大阪）
高崎（東大阪）2（11—3　11—1）0桝田（武庫川）
石崎（東大阪）2（11—6　11—3）0岩田（大樟蔭）

▼決勝

柴山（東大阪）2（15—4　15—10）0大場（東大阪）
高崎（東大阪）2（15—5　10—15　15—8）1浅野（親和女）阪本
及川（東大阪）2（15—10　15—5）0桝田（武庫川）山岸

〔女子ダブルス〕

▼準々決勝

岩田（大樟蔭）西尾2（15—6　15—4）0早野（東海女）川上
柴山（石崎）2（東大阪）（15—5　15—4）0中村（金沢）富田
大場（阪本）2（東大阪）（15—1　12—15　15—11）1浅野（親和女）飯田
高崎（及川）2（東大阪）（15—4　15—0）0桝田（武庫川）山岸

▼準決勝

柴山（石崎）2（15—4　15—14）0岩田　西尾
高崎（及川）2（15—10　15—5）0大場（阪本）

▼決勝

柴山（石崎）2（15—9　15—8）0高崎（及川）

▼準決勝

柴山2（11—1　11—1）0大場
石崎2（11—1　12—10　13—11）1高崎

▼決勝

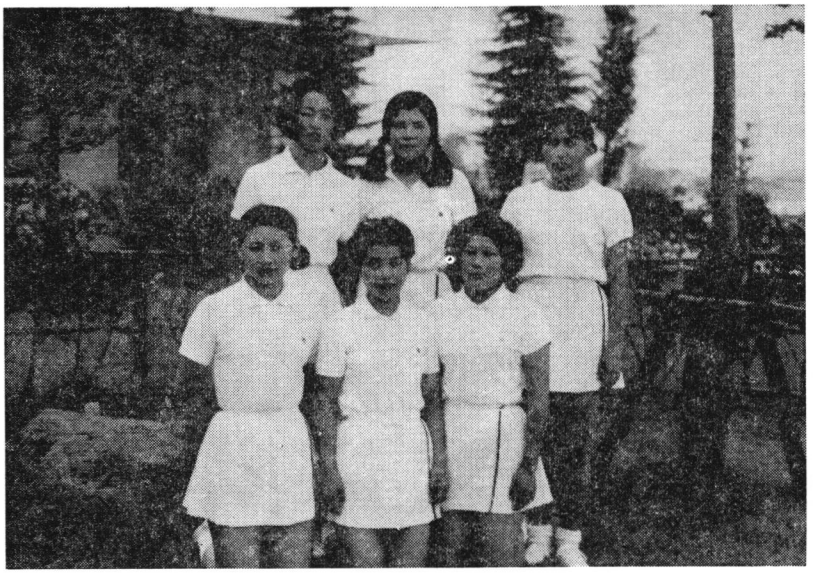
柴山2（11—4　11—3）0石崎

特別レポート

充実した東大阪短大勢

女子のホープ（関西学生界）をさぐる

〝東高西低〟打破に希望



西日本学生の女子部門で全員入賞した東大阪短大勢。前列、左から及川、坂本、石崎、後列、左から柴山、大場、高崎

前回の学生界のホープ（関東の男子）に続いて、女子の部をお送りします。

どういうわけか、といってはヘンだが、女子の俊英は、大阪、それも東大阪短大に集まっているようだ。

果たすかインカレのシード破り

柴山めざましい心身の成長

ここ数年、学生バトミントン関東勢に上位を独占されている。あいかわらず男子は関東勢に二、三歩、先を越されているけれども、ようやく、女子は関東勢と互角に、或いはそれ以上に戦える月が到来した、といえるのではなかろうか。

今までの全日本学生選手権（インカレ）をふり返ってみると、女子において西日本勢が上位に進出したのは、第十二回大会、（昭和36年）までで、第十三回以後は、全部といってよいほど、関東勢に上位を独占されている。

ユ杯の第二次防衛は、もうすぐ目の前に来ている。関東、関西の別なく、全国から〝次代の代表〟が輩出することを期待しつつ、まず、この一編をご紹介するしだい。筆者は関西学連の民谷憲二君である。

しかし、関東勢といっても、はえぬきの関東出身者は少ない。出身高校が、意外にも関西地方が多いのは、何ともわりきれぬ気持ちである。

さて、関西女子バド界の大型新人といえば、だれをさておいても、今春、東大阪高から東大阪短大に進学した柴山だろう。

この東大阪短大というのは、在学中、大いに活躍していた池田、篠山（現三菱電機）の出身校である。

この二人によって、昭和四十三年の春季リーグに初めて関西学連に加盟し、四部から出発した。その後、シーズンごとに着実に昇格し、昭和四十四年秋には、一部のトップの座についたのである。

彼女達の卒業後も、後輩の柴山らにバトンを渡して、現在の地位を不動のものとしている。

話題を柴山に戻そう。この選手の経歴がまたすごい。一位ずくめなのである。高校時代、出場した大会はすべて優勝。今年にはいっても、国際学生関西地区予選会で、同輩の高崎に一敗したのを除いては、関西選手権西日本選手権で単複ともに栄冠を勝ちとり、実力のほどを示している。

高校時代は制服を着ているとまだかわいらしさが残っていたものだが、進学してからは、ぐっと大人っぽくなった。特にコートの中にはいると、とても大きく見える。

よく「名プレーヤーは、コートに立つと大きく見えるものだ。といわれるが、まさに柴山がそうである。大学一年とは思えないような落ちついた試合運び、乱れることのない正確なコーナー・ワーク、いずれをとっても文句のつけどころがない。

泣く子もだまる（？）鬼監督、佐藤先生も「柴山に対しては、全幅の信頼をおいている」との

ことである。

あと二ヶ月余りにせまっている第二十一回インカレには、彼女こそ、女子単のシード破りとなって、波乱を巻き起こすものと信じている。

多彩な学内のライバル同志

栃木県真岡女高から東大阪短大に進学した石崎も最近よくなった。彼女は、昨年のインターハイで単二位、団体戦の準決勝で東大阪高の柴山と三時間半の大接戦を演じた選手である。

大学進学後も期待されていたが、静かで地味な性格が災わいしたのか、それとも、環境の変化に順応出来なかったのか、関西選手権では、準決勝で同輩の大場から一ゲームを先取しながら、逆転負けを喫している。

その後、ハード練習によって、ようやく、本来の石崎らしいフアイトある試合を見せている。西日本選手権では、準決勝で高崎を破り、優勝戦で柴山に敗れはしたものの二位に食い込んでいる。試合の時とは対照的に、ふだんは人あたりのやわらかなやさしい女性であり、今後の一層の精進が期待されている。

高校時代から柴山の良きライバルであり、また、パートナーでもあったのが、同じ東大阪短大の高崎である。

昨年のインターハイ単三位、複一位のキャリアをもち、常に柴山のトップの座を揺り動かそうと、気迫に燃えたプレイを展開する。その結果、国際学生予選会決勝では、みごと柴山に土をつけることに成功した。

ヤリのようなスマッシュを相手のコートに突き刺していく試合は、見ていて非常に気持ちがよい。石崎とともに柴山のトップの座に追いつき、追いこして欲しいものである。

さらに、石崎とともに、岐阜県富田女高から東大阪短大に入学したサウスポー及川がいる。

彼女は、石崎とは対照的な、ハッキリとした快活な現代っ子である。それが試合においても、いかんなく発揮されており、特に、ダブルスにおいては、サウスポー独特のコーナーワークを見せている

リーグ戦においても、着実に勝利を重ね、また、関西選手権。西日本選手権でも、高崎とダブルスを組み、いずれも準決勝をしている。インカレ団体戦優勝を目指す東大阪短大にとっては、貴重な戦力である。

以上の四人のほかに、東大阪短大には、あと二人、有望新人がいる。大場と坂本であり、昨年のインターハイでは、複で三位に入賞している。

大場は、体格、センスともにかなりのものをもっているのだが、残念ながら、故障が多いために、非常に損をしているように思われる。ケガさえなければ…という場面が、しばしば見られるので、大場には、健康管理を彼女自身の課題にしておきたい。

坂本も、手首の故障などで、満足なプレーを見せる機会が、あまりなかったが、東大阪短大における坂本の存在価値は、目に見えぬ大きなものがあるようだ。

主将という重責を立派に果たし、また、学連関係の仕事もつとめ、監督と選手の良きパイプ役としての気苦労は、他人の目から見る以上に大変なものであろう。

第一線で活躍する選手のかげで、彼女がどんな苦労をしているか。彼女自身はそれほどと思っていないだろうが、これは是非とも、一流選手といわれる選手たちが、自覚しなければいけないのではないだろうか。

以上、東大阪短大の六人を紹介したが、関西において、よくがんばっている選手がもう一人いる。武庫川女大二年、河内である。



武庫川の孤塁を守る河内嬢

武庫川女で河内が健斗

国際予選会では、東大阪の強豪をしりぞけて四位に食い込む健闘をしている。東大阪短大勢の活躍のかげにあって、目立たない存在であるが、若さあふれるプレーをモットーとし、武庫川女大を関西一部のトップ・クラスにとどめている立役者である。

彼女も短大生であるため、来春卒業の予定だが、卒業後も、あのハツラツとしたプレーを忘れず、ハッスルしてほしいものである。

ともかく、東大阪短大六名の出現によって、低調であった関西学生女子バドミントン界にもようやく、光がさしかけてきたようである。

しかし、これは反面、関西女子界の層の薄さを暴露するものではないだろうか。男子にもいえることであるが、層を厚くして、東西が張り合うようにならなければ、バトミントンの向上発展につながるとはいえないだろう。

高校勢に望む関西への進学

この「バドミントン界」を読まれている高校生諸君!!関西学生界は、あなた達の情熱を求めております。是非とも、関西の大学へ進学することを、この誌上を借りてPRするしだいです。

（全日本学連・関西学連副委員長　民谷憲二＝大阪市大）

関東女子学生のホープ

ダブルスの〝星〟漆畑
堀川には心理的課題が

昨年度インターハイ上位入賞者の大半が〝西〟に集ったこともあり、ネームバリューといった面からすれば〝西〟に一歩譲った形になるが、〝東〟の女性新人も負けてはいない。

青山学院大No.1の高校とのダブルスでスタートした漆畑（富士高出）もその一人だ。対日体大小出。堀川組との試合で見せた彼女のプレーは、パートナー高坂の好リードがあったとはいう、注目された。

スマッシュ、ドライブ力を高坂がうまくひきだしている。まだ単調な面があるが、パートナー高坂は「余裕がない為では…」そして「もっと線の太いプレーヤーになって欲しい」とアドバイスする。

このダブルスは関東選手権準優勝、東日本大会三位と好成績を収めている。

日女体大の塩崎（高岡商高出）は〝拾う〟ことにかけては新人の中では群を抜いている。

高校時代に男子のシャトルを受けていたとあってどんな強打でもどうにかさばく方法を知っている。コーチの阿部先生は「けっして伸び伸びとした状態でシャトルを受けているとはいえない。ということはテンション（緊張度）の強い選手ということだ。その状態を私は直していってやりたい」と指摘する。

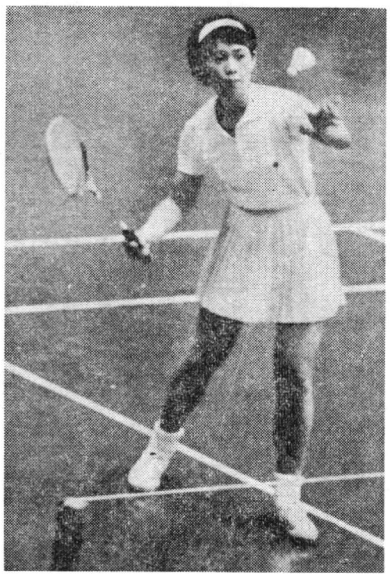
五月の関東選手権では堀川（昨年度国際学生代表）を三ゲームともセッテイグの末、破り三位になっている。

部内では塩崎に勝つといわれる池田（親和女高出）は将来性十分。「インターハイ出場という実績だけしかない。そこで主導権をとるのがへた。随所に弱気な面が出る。どうしても〝受け〟の状態になってしまう。バドミントンをもっと知ることが大切だろう」と阿部先生。

相沢、竹中らを育てた同コーチは、自信をもってこの二人を指導するだろう。

日体大二年、堀川は心がやさしすぎる。そんなところがだれからも好かれるのだが、それが勝負の面においては神経質といわれ、好不調の大きさを招く。よく「恵まれた体格を生かしきっていない」、「動けない」などといわれるが、精神的な面が大きく作用しているのではないだろうか。

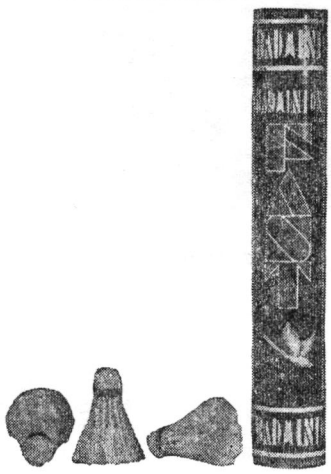
（久永公夫）



▲ダブルスにうまみ▲漆畑

水鳥 検定合格球

ファストゴールド
ファストシルバー



ファスト印シャトルコック製造発売元 有限会社 ジャワ商会

山形市六日町7-28
電話 02362（22）3994(代) 3280・0545

公　　告

日本バドミントン協会では総会の決定に基き、昭和45年度の協会検定、審査合格および協会推奨の用具を、本欄のように決めましたので、ここにお知らせします。

昭和45年４月１日

日本バドミントン協会

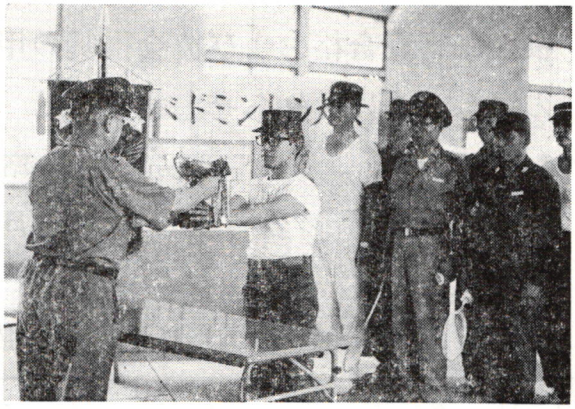
昭和45年度日本バドミントン協会審査合格用具推奨用具

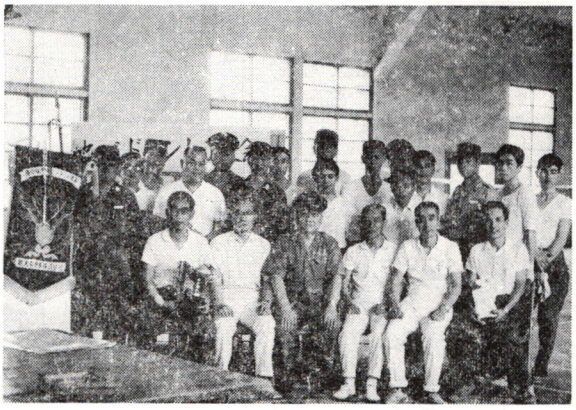
ラケットの部	銘柄名	会社名	摘要	ウェアーの部	銘柄名	会社名	摘要
	ラッキーセブン張上（#7）	株式会社ヨネヤマラケット			(男子)#106ショートパンツ	株式会社ヨネヤマラケット	
	スリーエート張上（№8）	〃			(男子)#107シャツ	〃	
	クインハートフレーム（#1,000）	〃			(男子)#105ショートパンツ	〃	
	カレッヂエイトフレーム（#3,000）	〃			(男子)#108シャツ	〃	
	カレッヂエイトデラックスフレーム（#4,000）	〃			(女子)#203ミニスカート	〃	
	ファイブエースフレーム（#5,000）	〃			(女子)#204シャツ	〃	
	ファイブエースデラックスフレーム（#6,000）	〃			(女子)#202ミニスカート	〃	
	レディエースフレーム（#6,500）	〃			(女子)#205シャツ	〃	
	アルミナエースフレーム（#7,000）	〃			(女子)#200スカート	〃	
	アルミナエースデラックスフレーム（#8,000）	〃			(男子)#104ショートパンツ	〃	
	キングダイア（#2,000）	〃			(男子)#109シャツ	〃	
	コールドキング	株式会社諸江製作所			(女子)#206シャツ白	〃	
	ダンロップ	〃			(男子)№500 リースバドミントンシャツ	河崎ラケット工業株式会社	
	キングクリッパー	〃			(男子)№533 リースバドミントンショートパンツ	〃	
	キングメイト	〃			(女子)№500 リースバドミントンシャツ	〃	
	シルバーデラックス	〃			(女子)№592 リースバドミントンスカート	〃	
	ハイ・スピード（№2）	大阪合織株式会社			チャンピオンバドミントンシューズ	株式会社ヨネヤマラケット	
	ハイ・トーマス（№3）	〃		シューズの部	バドミントンシューズ	株式会社諸江製作所	
	フィアレス（№10）	〃			アタックシューズ	〃	
	フェニックス・インペリアル（№30）	〃			アタックデラックス		
	エクセレント（T-1）	〃					
	ブルーリース（№B-6P）	河崎ラケット工業株式会社					
	エバーウィン（№206）	〃					
	カアルトンオールスチールラケットスリーポイントセブン	日本カアルトン株式会社					
	№8 ウィンナー	株式会社トヨダスポーツ					
	№1,000 ニューミニ	〃					
	№3,000 ブルー	〃					
	№4,000 アルバート	〃					
	№5,000 ニューアルバート	〃					

2万3千が愛好者

バドミントン

4年前から連盟も





自衛隊がバドミントンを盛大にやっている。この事実は日本バドミントン協会の関係者も、ごく一部を除いて知らなかったらしい。

認識不足もはなはだしいが、実は編集部もおどろいた。それ

「自衛隊でもバドミントンやってるんだってね」

「ほんとかい？　射撃や重量あげなら話はわかるんだが…」

協会の事務局で、ある日こんな会話を耳にした。自衛隊とバドミントン――〝兵隊さん〟と貴族の遊戯〟。どうもピンとこない。

しかし調べてみると必要はありそうだ。そして驚いた。やってる。やってる。仙台、熊谷、府中……全国で五十におよぶ部隊にバドミントンが普及しているという。そして「自衛隊バドミントン連盟」というレッキとした競技団体まであるという話。

その一つ、東京・世田谷の用賀駐とん地（衛生補給処）を訪れた。ちょうど、年に一度の駐とん地バドミントン大会のまっ最中。

むかし、トラックの倉庫だったという体育館は、ロング・ハイ・サービスを打つと天井にぶつかってしまうようなせまい所だが、事務員を含む三百人の隊員の三分の一がバドミントン愛好者というだけあって、盛大な大会。

〝社会体育〟にもひと役　地域との交流も活発に

プレーヤーの平均年令が三十二、三才と〝高令〟なせいか、競技の方はあまり高度とはいえないが、傑作なヤジがポンポンとび出す大人のムード。

「さあ、対手はそろそろ神経痛が出るころだよ」

「動きはいいが、出っ張ったハラが気になるぞ―」

「作戦会議（ダブルスでサーブの前の打ち合わせ）が長すぎる…」

そのたびに作業服姿の観客からドッと笑いが起こる。

「ここは小さな部隊ですからラグビーやサッカーなど大がかりなスポーツはなかなか出来ないんです。そのかわりバドミントンは盛んですよ。自衛隊大会の団体戦で二度も優勝したことがあるんです。きょうも　もう昼休みが終って作業時間に食い込んでるんですが、年に一度のことですから、わたしの命令で昼休みは延長です。

駐とん地の田中一朗司令も珍プレー続出にほおがゆるみっ放し。

世話役の村上州平厚生班長が「正式の部員は三十人、隊員の健全なレクリエーションとしてこの大会を積極的に助成しています。さる三十八年から始めて今年が第八回大会、この駐とん地は自衛隊大会の団体戦で四回のうち二回優勝したのをはじめ、個人の部では三種目のタイトルを保持しています」と田中司令の話を補足してくれた。

この村上さん、実は自衛隊バトミントン連命の理事長である。さる四十一年三月に発足した同連盟は、今や加盟部隊が陸、海、空合わせて五十部隊、約二万三千人がプレーをしており、そのうち約三千人が正式の選手として連盟に登録している。

日本バドミントン協会の正式

おどろき！

自衛隊と全国50部隊

レポート

というので、さっそく取材してもらって、二度おどろいた。愛好者が二万三千もいて、連盟までである――底辺拡大を望むバドミントンにとって〝救いの神〟みたいな自衛隊。協会は今後積極的に協力関係を確立していくべきだろう。

登録が約一万五千人であることを考えると、自衛隊連盟の三千人というのはたいへんな数字である。

すでに自衛隊定期大会を十回（部隊対抗四回、選手権六回）開いており、指導者研習会も年一回開くなど、なかなか強固な組織力をもっている。

同連盟のおもな目的は、たんに優秀選手を育て、隊員の親睦をはかることのほかに、バドミントンを通じて自衛隊そのものを一般にPRしようというねらいがある。

いわゆる〝社会体育への奉仕〟で、各隊員は家に帰ったあと、地域社会で、小・中学生、家庭のママさんたちと積極的に交流を行ない、すでに都内では、世田谷、練馬、小平、国分寺、府中、町田、昭島、青梅などで、また地方では、仙台、千葉、京都、横須賀、松戸などで着々その実をあげている。

今のところ、日本協会との密接な連係はないが、近い将来、日本協会にとって有力な協力団体の一つになるだろう。

（読売新聞・小林鉾夫）

協力関係の確立へ 近く話し合いしたい

日本バトミントン協会川端理事長の話　これだけ盛んにやっているのに、これまで実体が知られていなかった。しかし、現在でも、一部、交流はあるので近く機関で検討して、積極的な協力関係を結びたい。

自衛隊連筋が直接日本協会へ加盟するのは無理にしても、方法はあるだろう。技術指導、大会の協力など、できることから話し合ってみたいと思う。

悩みは同じ「指導者と施設」

東京・十条の練習に参加して

九月十二日、東京・十条の自衛隊に招かれて、練習会の指導に出かけた。

部員は三十五人ぐらいだが、試合のできる人は、まだ少いらしい。当日の参加者は約二十人だった。会場は天井が低く、フロアはコンクリート敷きの講堂。日本協会の選手たちが試合する場所にくらべたら、気の毒なくらいの施設だ。



▲自衛隊連盟の会報

技術的には、一応、基本のクリヤーやスマッシュなどはできるが、本格的な指導者がないため、統一的な練習があまりできないのが悩みらしい。我流のダブルスが目についた。

だが、さすがに、ふだんから鍛えられているだけあって、パワーと体力は抜群。スマッシュの強さなどは、こちらが顔負けするほどだった。

こうした隊員たちが、適当な指導者について、基本からみっちり練習したら、発達した運動神経とあいまって、環境によっては、かなりの線までいけるのではないか、と思った。

関係者の話を総合すると、一番の悩みは施設。体育館あるいは体育館と称するものがあるのは、現在、十条、仙台、帯広ぐらいとのこと。

逆にいうと、体育館のある仙台、帯広では、国体に出場するほどのレベルの選手がいたり。実業団大会でベスト16にはいるほどの実力がある。

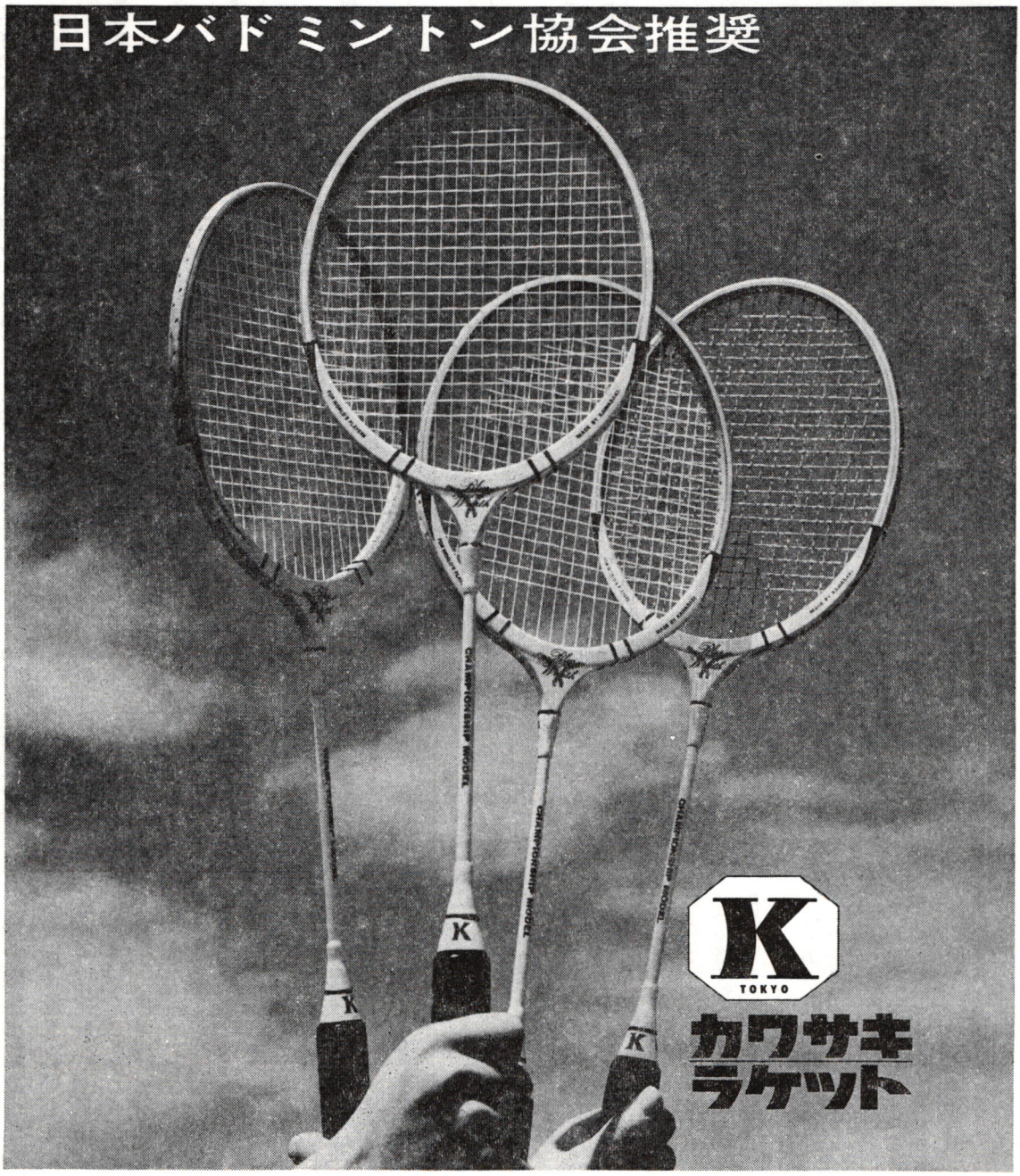
だが、お台所の方は苦しいらしく、十条では三ヵ月ごと三百円の部費を集めるが、シャトルも、平生はナイロン、試合前に水鳥と切り換えている。ここでは、ほかにサッカー、テニス、バレーのクラブがあるが、成績によって予算面がちがってくるので「近く開かれる東部方面部隊対抗には、なんとか優勝したい」といっていた。

十一月には千葉の富津で二泊三日の全自衛隊合宿（今年で三度目）が開かれるという。こうした機会に、日本協会が指導者を派遣して、プレーの向上に協力すべきだと思う。（**日本協会審判委員会・須田孝夫**）

kawasaki racket

ラケットの名門カワサキ――――

長い歴史と抜群の技術は世界が認めるところ、にぎった瞬間にわかるバランスのよさ、その確かな手ごたえ……もちろんチャンピオンも使っています。



家庭婦人教室 ❸

身体を〝ひねる〟大切さ

ツイストも素晴らしい運動に

指導委員長
伊藤基記

前号では『跳ぶこと』を中心として、弾力的な体のつかい方が家庭婦人の若さを保つ上にどんなに大切であるかを強調しておきました。今日は身体を『ひねる』運動の重要さに就いてお話しをしておきましょう。

皆さんは人間の体の骨格図をごらんになったり、模型を調べたりしたことが学校時代の理科の時間にあったはずです。

その時に『関節』について先生から解剖的な説明をききながら、勉強された記憶が残っていることと思います。

その関節における骨の型状について多分、次のような点を気づかれたにちがいありません。

すなわち関節の骨は「蝶つがい」になっているのではなくて、一方が臼状になり、他方が杵状になっていて、杵状の方が、臼状との接点を中心として、臼の中で杵をこねるように廻り動くようになっているということです。

従って、人間の身体は、関節によって、「屈げたり伸ばしたり」「振ったり、あげたり」することのほかに、「廻したり、ひねったり」することができるようにつくられているということです。

もし、人間の関節が扉を開けたり、閉じたりするように、**蝶つがい**的な可動性しか持たないようにつくられてあったら、さぞ不便なことであったろうと思います。

運動はすっかり型にはまって、ぎこちなく、ちょっとゆだんをしたり、可動の範囲を越えると、関節がはずれたり、筋肉をいためたりすることになるでしょう。ちょうどロボットの動きのようになっていたに、違いありません。

ロボットや人形の動きには、上下の動きや横の動きはいれることができても、ひねるとか廻るような動きはなかなかいれにくいものです。

それで、役者が、ロボットや人形の動きのマネをするときは、関節を意識的に蝶つがい的に動かして、その動作を出そうと試みるわけです。

運動をおこたると——〝線〟がくずれ、内臓も弱る

さて、この『ひねる動作』『廻す動作』が、この神様が与えた不思議な関節の構造によって出来るところに、人間の身体に

一・柔かさ、柔かい動き
二・優美な動き、滑らかな動き
三・安定した動き
四・しなやかな動き

が生まれてくるのであって、もともと人間の身体は「ひねり廻す」ようにできているわけです。

ところが、この身体をひねり廻す運動は、ややもすると、社会人の生活動作の中からほとんど姿を消してしまうことになりかねない現代です。そうして、この運動がなくなったために、

一・体の線がすっかりくずれてしまう。
二・内臓への物理的刺激が足りないために、便泌をおこしたり、内臓全体が弱ってくる。
三・動作がぎこちなく、全体としてにぶってくる
四、ちょっとしたことで、腰や、足くびを捻挫したり、いためたりする
五・腹や、体側にぜい肉がついてくる
六・身体全体として、ギスギスした感じになってくる
七・食慾がなく、気分がさっぱりしない

というような、色々の欠陥を生むことになります。

家庭婦人教室 ❸

ツイストはその意味で、適当に、上品にやれば、素晴らしい健康体操の一つだといえます。

ラジオ体操の中に身体の捻転をいれてあるのは意味のあることです。

腕も、足も、身幹も、どんどんひねり廻すような体操をすることをおすすめします。

さて、バドミントンの動き、ストロークの中に、腕や、足腰それに肩や、身幹のひねり廻しが豊富に含まれていることは説明の必要もありません。

面白く、夢中になってハッスルして動き廻っているうちに、人間の身体のすべての関節は捻転のオーケストラを奏でているというわけです。

例によって、バドミントンの我田引水になりましたが、試合はしなくても、羽根の打ち合いを庭先きで、風の少ない朝夕に楽しむだけでも、家庭の雑事に追われて、運動不足になりがちな主婦の方々は、ずいぶんと救われるわけですから、貴女も今日から、一つ、ラケットを握ってごらんになりませんか。

〝一人練習〟のすすめ

すべては自分の工夫と努力から
どんな空き地でも利用できる

練習――という場合には、いわゆる技術の練習と、体力のトレーニングの二つを意味する。

トレーニングなら、一人でもやれることがいっぱいあるが、シャトルを打つ練習は、一人ではつまらないし、できない、という人もあるだろう。

だが、だれでもが、いつでも相手があって、ラケットを振れるとは限らない。だが、だからといって、やらないのでは、うまくならない。他人のやらないことをやって、はじめて進歩があるのだ。

自分で目標設定

では、一人で、どんなことがやれるだろうか。

戸外の場合、諸君のまわりにどこか空き地はないか。草の生い繁っている野原、木にかこまれた神社やお寺の境内、野球場にもならない。土だけの広場、すべてけっこう。

まず、広さ。タテ約十四メートル、ヨコ約七メートル、つまり、コートがとれるくらいの広場があるとする。土の上に棒っきれで線をひいて、即席のコートをつくる。そして、ネットの位置にヒモを張る。これで充分ではないか。

強い風さえ吹かなければ、ここで、自由なことがやれる。自分で目標点を決め、打つストロークの種類を決めればいい。テニスのボールなら、打てば無限にころがるが、さいわい、シャトルは逃げない。

これだけでも、スイングのコツ、自分のクセ、正確さというものがわかってくる。

人にいわれること、人に聞くことは、もちろん大切だが、それより大切なのは、自分で工夫し、考え、実行してみるという態度だ。

いくら一生けんめいスマッシュを打っても、インパクト（ラケット面とシャトルがぶつかる打球の瞬間）のさい、力がはいらない、とか、フライトにバンチがない、ノビがない……たとえば、こんなことは、だれでも何度か経験する。

なぜだろうか、と自分で疑問を持つところから、原因の解明が始まる。どんな名医でも、患者が自覚症状について一言も説明できないのでは、処方の下しようがない。

話がそれてしまった。どんなことでも自分のプラスになるようにという〝頭〟をいつも持っていれば、必ず解決の糸口がつかめるものだ。

だから、きみの周囲に、もっともっとせまい、ネコのひたいのような空間しかなくても、なにかは練習できるはずだ。

たとえば露地、家のヘイと建物の間でも、横幅が二メートルあればりっぱにラケットが振れる。むかし、京都の三十三間堂ではこの長さを射抜く弓の競争が行なわれた。バドミントンでも、このせまい場所を、なにかのストロークで確実に打ち抜く練習はできる。裏木戸の上を必ず通すとか、木の枝の一点に必ず当てるとか、要は考えようだ。

下手は自分の〝鏡〟

初心者の試合 観戦も勉強になる

もっとせまいところでも、たとえば、カベにシャトルをぶつけるカベ打ちのようなものは可能だろう。

部屋の中でも、体育館のスミでもいい。天井から長さをかげんした何本かのヒモをつるし、これにシャトルをしっかり結びつけて打つ。ラケットをいっぱいにのばしてとどく高さ、ネットすれすれの高さ、腰の高さ、地面すれすれの高さ、など、自分の考えしだいだ。

ただ、どんな練習でも、気まぐれではいけない。思い出したように、月に一、二度やるのでは効果がないから、自分で長続きのする、可能な範囲を考えて、計画どおりやることだ。

そして、自分は、何のためにこの練習をやるのかということを、自分で理解していること、やってみた結果をもとに、指導者や先輩に、自分はどうして、ここがダメなのかを聞けばよい。

入門当初は、ラケットの扱いと、タマを打つ感じに慣れることが先決だから、上手な人の高度なプレー、技術に、やたらに目移りして、程度の高いものに飛びつくことはよくない。

はじめの段階で、ヘンなクセがつくと、ほとんど一生なおる見込みはない。一流選手の中にも、こうした人は必ずいるが、強化指導に当たる先生方も、合宿などで、こうした弱点を矯正することは、まずできない、といわれ、欠点には目をつぶり、長所だけに磨きをかけるようにもっていく。

初歩は地道が肝心だ。〝ひとのふり見て、わがふり直せ〟でいろんな人のプレーを観戦し、勉強することも大切だ。だが、もし、勉強のために見るのなら、あまりレベルの高くない、どちらかといえば自分と似た段階の人のプレーを、じっくり調べるとよい。〝ヘタは自分の鏡〟で、欠点が、その理由が、ふしぎによく、わかるものだ。

私の場合

読切連載【第10回】

熊本女大OG
電々公社勤務
真部文子

足が地につかなかった初遠征

現役を退いて五年、新聞のスポーツ欄に「バドミントン」という字を探す程度で、バドミントン界とはすっかり縁遠くなっていた私に、突然、原稿の依頼があり再び古いアルバムをひもといて感慨にふけっています。

ふり返ってみると、私がはじめてバドミントンのラケットを握ったのは、中学二年生も終りにちかい頃。当時、体育の先生であった今村先生にすすめられ何となく、それこそハネツキ程度にやったのがきっかけです。

当時は、ソフトボールに熱をあげ、一～二カ月は二本立で放課後、昼休時間を過したものです。昭和二十九年頃の事です。

今でこそバドミントンといえば万人の認めるすばらしいスポーツですが、その頃は私自身バドミントンというものをはじめて知り、また一般の人々も「なんだ、ハネツキじゃないか」、「バドミントンなんて、女の子のやるものだ」などという程度



▲37年ジャカルタのアジア大会選手村で

（地域によって普及度は異なるが）の頃でした。

体育館の数も少なく、ラケットも、シャトルも今とは数段劣るものでした。シャトル（当時はニワトリのハネ）がつぶれると一本一本植えかえてゼラチンで固定し、ガットが切れたとい

いいきかせた〝初心忘るべからず〟

――慣れや惰性は墓穴を堀る危険信号――

っては継いで、すり切れるまで使ったものです。

現在、日本のバドミントンは世界のトップレベルにあり、海外遠征も数多く行なわれていますが、昭和三十七年、ジャカルタで開催された第四回アジア競技大会に日本の女子三名が出場したのが、バドミントン界における女子の大きな海外遠征の最初だと記憶しています。

この大会の選考基準ともなった昭和三十六年の全日本総合選手権で、パートナーでもあった先輩の田島外茂子さんが準決勝で私と対戦中にアキレス腱を切り一緒に出場出来なかったことは、非常に残念なことでした。

初めての海外での試合は、文字通り雰囲気にのまれ、足が地につかず敗れはしましたが、私のバドミントン生活における最も記念すべき一頁となりました。

そして昭和四十四年、世界選手権（ユーバー杯）初防衛!!

何という飛躍でしょう。何年ぶりかで見る大試合、大観衆、日本選手の堂々たる試合ぶり、↘思わず胸があつくなるのを感じました。

勝利の味をかみしめるすばらしい閉会式、それは一方では、次期大会への苦しい練習の開会式でもあるのです。こんな事、百も承知だとわらわれるかも知れませんが……。

熊本の九州女学院中学校↓同高校↓熊本女子大学と恩師である伊藤基記先生はじめ、諸先輩の方々の御指導をうけ、私にとってはすばらしいバドミントン人生でした。そしてそれは、毎々毎日の苦しい練習の積み重ねの結果だったと信じています。

社会人になってからも良き先輩達に恵まれましたが、仕事と選手生活との両立はむずかしく、自分自身満足しないうちに、現役を退いてしまいました。

長年の選手生活、そして社会人としての生活を通して私自身への教訓は、〝初心忘るべからず〟の精神です。

人間はよくばりなもので、恵まれすぎると、それが当然の事だと思うようになり、更に上をみるようになり、慣れや、惰性でものごとを行なうと、思わぬミスや事故を起すことがあるものです。

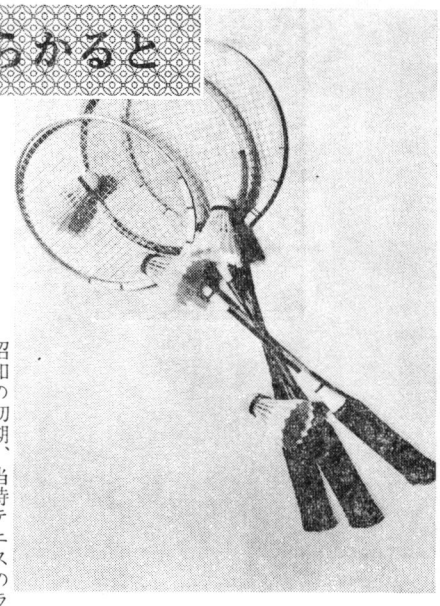
プロの選手でも、スランプにおちいると基礎からやり直すと聞いています。ましてアマチュアにとって基礎練習こそ、その選手の技倆の底辺となるものではないでしょうか。（まなべ・あやこ＝旧姓秋山、六十一年全日本単選手権者）

新連載 ❶

バドミントン用具の話題あらかると

《ラケットの巻》

日本協会用具委員会
委員長　松本弘充



"テニス業者"への輸出注文が発端

バドミントンのラケット製作が競技を促す

昭和の初期、当時テニスのラケットを製造し輸出していた会社に、テニスラケットを小型にしたようなラケットの注文が舞い込んだ。

「何のラケットだろう?」「どんな競技に使うラケットだろう?」「子供用テニスラケットだろうか、それにしてはきゃしゃ(華奢)だ。」など、首脳部は勿論、従業員に至るまで、この注文に疑問をもった。

何に使われるかもわからない品物をつくって、ただ輸出すれば良いというものではない。品物に生命(いのち)が入らない。当時のこの工場の心意気である。

さっそく発注主に「このラケットは何に使用するのか。我々の不明にして知らない競技であれば、そのルールブックを送って欲しい」と依頼したところ、発注主からルールブックを送って来た。

これを翻訳(ほんやく)し、その競技の概要をつかみ、試作品をつかって工場内で、翻訳したルールブックと首引きで競技をはじめた。この競技こそバドミントンであったのです。日本で近代的バドミントンが始められた出発点なのです。

我が国にバドミントンが渡来したことについては、いろいろといわれています。まず「紅毛雑話」によると二百年前に長崎のオランダ人の間で「ウーラング」として行なわれていた(バドミントン界第二号)。明治三十五年頃、新潟県の朝倉氏がイギリスでラケットと羽根を買い求めて来た(現存)。あるいは、大正十三年頃、北米YMCAから東京、横浜、神戸のYMCAにバドミントンの用具が贈られてきた。等々。

しかし、自分の手でつくったラケットで、ゲームらしいものをやったのは前述の工場であり、戦前における唯一のバドミントン協会、神奈川バドミントン協会を発足させる原動力となったことは否めない。

このように日本のバドミントンは、ラケットから出発し、発展してきたといっても、過言ではないと思います。当時の日本のラケット製造の技術が、いかにすぐれていたかを知ることができると同時に、現在のラケット製造技術もすぐれたものがあり、多く諸外国に輸出している現況です。

私たち日本のバドミントン愛好者、プレーヤーは恵まれていると思います。そこで、ラケットから用具の話を進めていきたいと思います。

(一)　ラケットの規格

ラケットの大きさ、長さ、型などについては公式には規格は全然ありません。どんなに大きくても、どんなに長くても、どんなに幅ひろくてもかまわないわけです。

ネットの幅と同じ幅で、天井まで自由に伸ばせる長さのラケットを両手にもって、ネット際に立っていても、規則違反にはならないのです。しかし、このようなラケットでは、実際にはゲームにさしつかえるばかりでなく不利になるので、このようなラケットはつくりませんし、また使用もされません。

もともとは木製の船のカイから思いついたラケットは、長い間の経験から現在使用されているような形になってきたので、最もよくプレーに適している、形、長さ、重さとして細心の注意と、精密な技術によって製造され、使用されているわけです。

現在のものよりもっとプレーに適するというなにものかがあれば、変化していくことでしょう。

(二)　ラケットの種類

ラケットにはつぎの四種類があります。

①ウッドウン（Wooden）ラケット（木製ラケット）

②スチール・シャフト・ラケット。（シャフトの部分だけ、スチールパイプにしてある）

③オール・スチール・ラケット。（全部スチールで作られている）

④グラス・ファイバー・ラケット。（グラスファイバーを大部分におおっている）

木製ラケットは、スチール・シャフト・ラケットができてから、そのすぐれた弾力や腰の強さには及ばず、ついにゲーム用としては姿を消し、玩具用として命を保っている現況です。

グラスファイバー・ラケットも、軽さ、弾力性、加工のしやすさからすれば、すぐれたものと思われますがいかんせん持久性に乏しく、試作の段階をでず、実用にまではいたりませんでした。

現在、もっとも多く使用されているのは、スチール・シャフト・ラケットですが、最近は外国製のオール・スチール・ラケットに刺激されて、国産の製品が研究開発され、続々と発売されてきました。近い将来には、外国製をしのぐとも劣らない優秀品が出てくるものと期待しています。

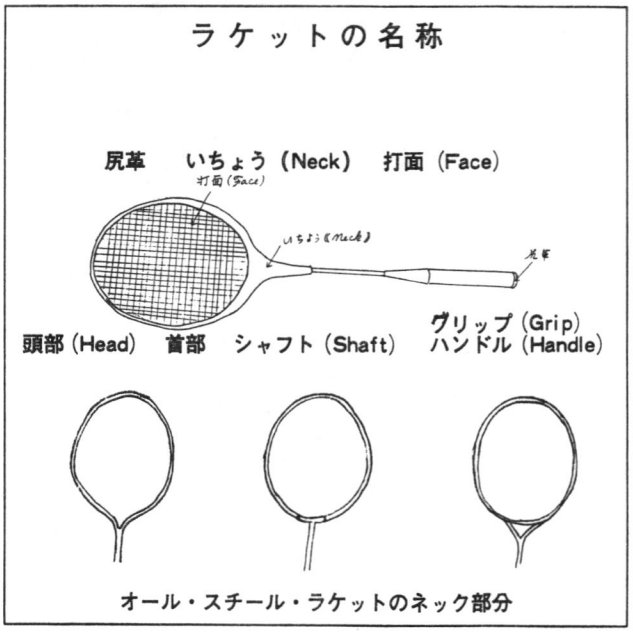
(三) ラケットの名称

図を参照して名称をおぼえて下さい。

ここで名称と関係することをいくつかあげてみましょう。

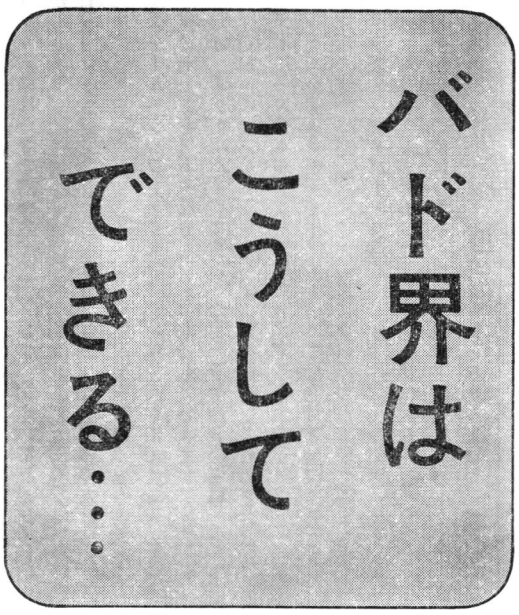
① フレーム

日本工業規格、バドミントン・ラケットについての用語の意味では「ガットを除いたラケット全体の部分」と意味づけています。また数年前までの競技規則第十四条八項に、ラケットの「枠」「柄」「握り」でシャトルの台の部分を打ったら、フォルトであるとなっていました。そしてこれをフレーム・ショットと俗によんでいました。するとガットを除いた部分がフレームと印象づけられますが、一般にフレームとは打面の糸を張る枠のことをいいます。





バド界はこうしてできる・・・



企画 編集会議 ①

毎月1回開かれる



原稿依頼 ②

（依頼主の拒否にあうことはしばしば……）



原稿回収 ③

（②から③の間が問題こゝを無事通過した時にバド界は80%完成）



編集部のぼやき

雑誌というのは、どんなものでもそうだが、なかなか手数がかかる。

即戦即決の新聞の場合だと、原稿のおしまいをチョン切ったり、行と行の間をつめたり、のばしたり、見出しを大きくしたり、いろんな手がある。

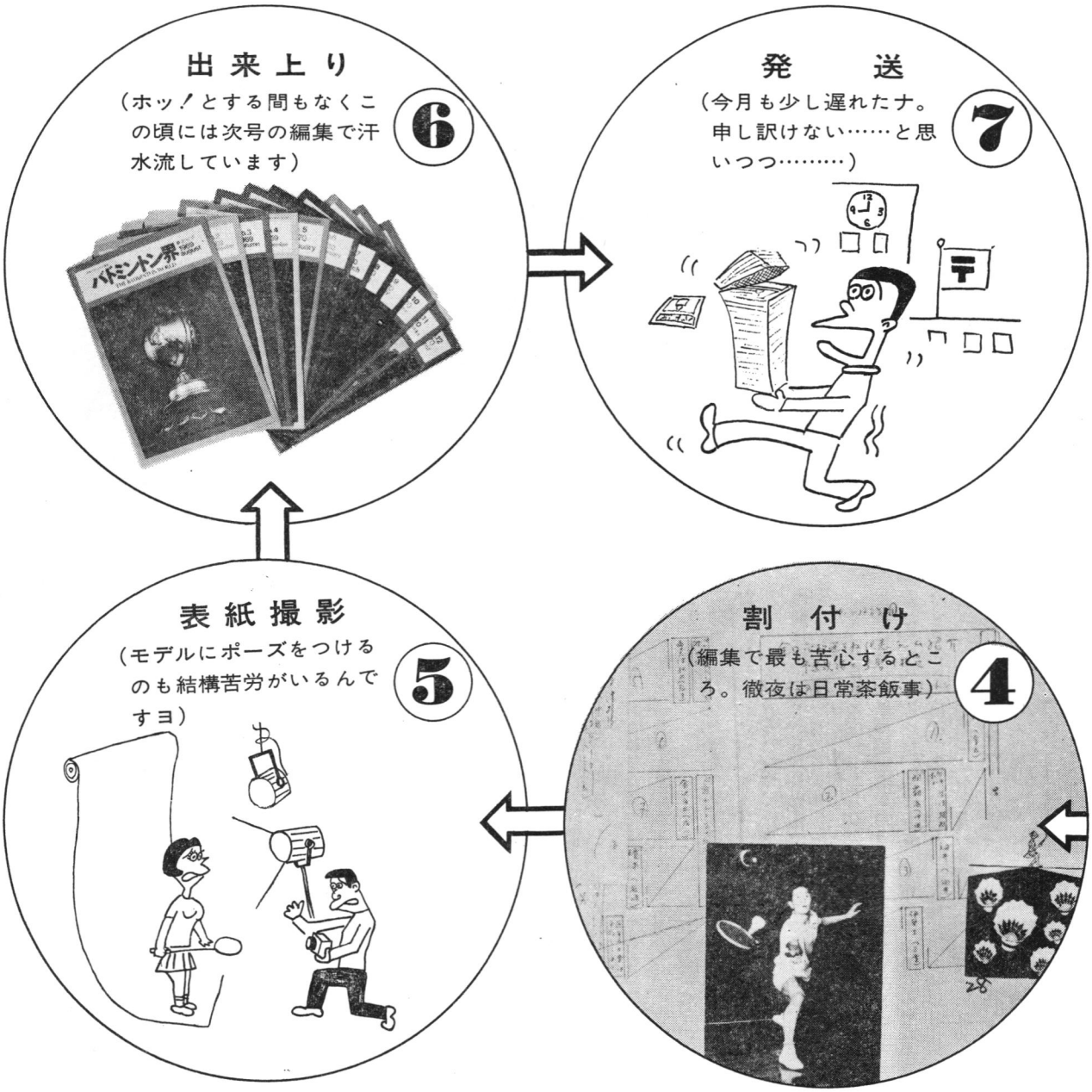
ところが、雑誌は（本誌の大きさだと一行14字、35行の5段分。新聞は一行15字で15段もある）大きさが、きちんと決まっているから、行数合わせが大変だ。

新聞記事は五つのWと一つのH（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どういうように）の要素があれば、最低のことは足りるが、雑誌記事のほとんどは、後半をけずるというわけにはいかない。

写真や図、絵もできるだけ入れたい。というわけで、一番てこずり、時間を食うのが、割りつけである。

編集会議でもやることは、まずない。原則的に毎号のせるものは決まっており、あとは、時の流れに応じ、問題を拾い上げしかるべき人に頼めばいいからだ。

だが、つぎにこまるのは、予定した原稿が、予定までに来な



い場合だ。たとえば二ページ以上にまたがる大きな記事では、二種類以上の大小の原稿を組み合わせる。（大会だと、前文、記録、評、サイドストーリー、こぼれ話、総評、談話など）そのうち、どの一つでも予定におくれると、関連記事全体の割り付けができず、何ページもあけたまま。つまり印刷所に原稿を渡せない。

過日のインターハイ特集（第11号＝予報、第13号＝結果）でも寄稿を依頼した府県あるいは人の三分の二から半分ぐらいしか、原稿が来なかった。こうなると、完全にお手上げである。

もう一つの悩みは写真。何度も読者に指摘されるが、グラフ用など以外のものは、関係者のご厚意によっている。事前に編集部ではスケジュールのわからないものもあるので、どうしても手配がおくれる。

当分は、やはり、協会関係者愛読者の方々の〝友情〟におすがりする以外になさそうだ。

よろしくお願いします。

北から南から

"社会体育"の振興とか、その必要性が叫ばれている。

社会体育といえば、いかにも固苦しいことばに聞こえるが、要するに、学校以外の場、つまりは町や村、あるいは職場などでスポーツや体育活動をやることだ。

本誌にも「クラブをつくりたいのだが」とか「地域でグループ活動を始めた」というようなお便りが、最近、目立って寄せられるようになった。

そこで今号では、ひょんなことから、企業内にバドミントン・クラブが生まれた話をご紹介しよう。



▲潮風の吹きよせる中で——ときには珍プレーも演じられるが、部員たちは大志を抱いてけんめい。雨が降ればバスの車庫へコートを移動する。

雨にも負けず、風にも負けず
庭球ラケットから誕生した
川鉄金属 バドミントン部？

クラブづくりのきっかけをつくったのは、前年度の関東学連委員長をつとめた中田正彦君。これは、同君の勤務さき、川鉄金属（東京）での実例である。

東京は陸の孤島と呼ばれる埋め立て地・晴海地区——まだ空き地が多く、昼休みには、大勢のサラリーマンたちが裏通り？にくり出して、スポーツを楽しむ。キャッチボール、ソフトボール、バレー、テニスからナワとび……ビル街とはまたちがった、しかし、活発な光景があちこちに見られる。

四月の終わりの、ある晴天の日、私は三人でテニスをしていた。ところが、その横で、いつの間にかバトミントン（失礼）が始まった。

やはり世間は広い、こんなところにも、バドの愛好者がいるんだナ。私は思った。もともとバドミントン出身の自分なので、テニスよりはバドにひかれる。だが、あいにくラケットがない。ままよ、とテニスのラケットをかついで、仲間に入れてもらった。

「キミ、そんなもの持って、なかなか、うまいじゃないか」などとヒヤかされ「いや、実はその」といっているうちに「おれにもやれそうだ」という人が、なんとなく集ってきた。

それがきっかけで、翌日も、その翌日も……しだいに暑さを増す日ざしに、つい熱がはいってしまうと、つい汗がひかない顔のままで、時期的に冷房がはいっていない職場に戻らなければならない。

そこで上司の宮田総務課長に聞かれた。「キミ、なんで大汗かいているのかネ」。

事情を説明すると、翌日、課長の方から話が出てきた。「おれもやるよ」。

だが、さて道具がない。課長じきじき、関連会社に借りに行ってきた。いざ打ってみると、小肥りのスタイル（失礼！黄金の青年期でした）からくるイメージとはちがい、なかなかの腕前で、動きも軽快。

ひと汗かいて課長いわく「借りてやるのではダメだな」そこで、さっそくラケット二本とシャトルを用意した。

実連加盟へみなぎる意欲

このあたりは、東京湾の潮風が、止むことなく吹いているが羽根が宙を舞ったりしてタイミングが狂い、かえって珍プレーが出ておもしろいことさえある。普通、風の強い日はナイロン製、微風のときは水鳥と、シャトルを使い分けている。

とにかく、バドミントンは室内でやるもの、というのが本来の"常識"だが、屋外けっこう。あまり場所などにこだわっていると、職場の楽しみは進展しない、と思った。

話題を戻そう。人がものに熱中するとは、大変なことだ。雨の降る日、総務の菊池さん。丸山さんという人たちなど、傘を

持って出ていく。「傘さしてやるんですよ」とニヤリ。

まさか――それは冗談で、実は、建ったばかりのバスのガレージでやるのだ。天井が約五メートルの高さ。いたって低いが、即席ルールをつくって、天井に当たったらどう、などと決めてやると、なかなか、おもしろい。

こうした活動を、やはり総務の中村さんが聞きつけ「どうせなら、部を創設せんか」と持ちかけてきてくれた。善は急げ、学連OBにあたる須々木さんがさっそくメンバーを構成、五月の中旬、会社に承認され、多少なりとも予算をいただくことになった。

とりあえずの部のスタートは昼休みのレクリエーションからだったが、社内には、なかなかの人材がそろっていた。経理には須々木さん、テニスが本職の遠藤さん、中学校時代に鳴らしたという粟野さん……まだまだいそうだ。

だから、今後の抱負も大きい。自部の練習、親会社・川鉄のクラブとの合同練習から、実業団連盟への加盟。夢みたいだというなかれ、優勝の栄冠だってあるんだぞ――。

あいさつ――というと、とかく、無味乾燥、おざなり、長広舌などの〝代名詞〟と受けとられそうだ。

つまり、そのくらい、あいさつというのは「つまらないもの」であり、選手たちにとっては「早くやめてくれないかなあ」といいたいもの、と考えられている。

だが、なかには〝珠玉の小品〟といえるような、あいさつだって、あるのだ。

その一例として、全日本学生連盟会長の松下正寿氏（立教大総長）が、最近、東日本と西日本の二つの学生選手権大会プログラムに書かれた〝あいさつ〟を、ご紹介したい。

いずれも短文ながら、スポーツ、体力づくり、そしてバドミントン競技の真髄に触れ、読むものをして「なるほど」とうなずかせずにはおれない、すばらしい作品である。え、編集部のあいさつが長い？失礼。

心うつ二つの珠玉の名文

松下全日本学連会長のあいさつから

東日本学生バドミントン選手権大会が、台東体育館で開かれることになった。

私はこの大会に大きな期待をかけている。というのはどの校か、また誰がどういう成績を収めるかも重要であるが、それよりも私は試会そのものに関心を持ち、期待をかけている。

万能選手というものはいない。数あるスポーツのうち、何か一つを専門にしなくてはならないし、自分が専門にしているものが重要なのは当然である。問題はその重要性がどの程度まで、社会に認識されるかである。

その点においてバドミントンは、その実質に比し、社会的評価がまだ低いと思う。バドミントンは見れば必ずその真位がわかるのである。特に動と静の調和において、バドミントンは、ほかのスポーツに見られない面白味があるのではないか。

ほかの一流スポーツに比較しバドミントンは部員の数も観衆も少ない。私は社会が損をしていると思う。しかし、焦っても駄目である。



選手は一生けんめいにやればいいのである。その意味において、私は今度の大会に観衆が一人でも多いことを希望する。見たことのない人でも、一度見れば、あの動と静の調和に魅せられるであろう。

× × ×

今度開かれる西日本学生バドミントン選手権大会に、私は大きな期待をかけている。

もちろん、どこの大学が、誰が、ということにも関心はあるが、それより以上、私は今度の大会が観客に強い感動を与えることを願っている。

文部省の報告によると、若い者の体位は向上したが、体力は低下したとのことである。この報告は、新聞、その他マスコミにも広く報道されたから、誰でも知っているはずであるが、余り重要視されていない。

私は、これは大問題だと思う。体力が低下したのも大問題だが、これを問題にしない、無関心であることにも大問題である。

日本はいまやエコノミック・アニマルになり切り、経済繁栄にばかり心を奪われ、体がおとろえているのに、無関心なのである。心身は一体である。体力が低下するということは、民族のエネルギーが低下することだ。日本民族が老衰することだ。私はほんとうに心配している。

何でもいいから、スポーツをやって体力をつけてほしい。しかし、世間では、まだバドミントンの真価を知らない。真価を知らせる第一歩は、立派な試会を見せることだ。見て「自分もやってみたい」と思わせることだ。

バドミントンは、野球やサッカーと違って、動く場が狭い。しかし、あの狭い場で行動する選手の激しい動きは、正に空間に描かれた流動的芸術である。

この美を「僕の」「わたしの」体で実現したいと、思わもてもらいたい。これが私の切なる念願である。

北から南から

大志を胸に、われわれは、きょうも、風の中に出ていく。

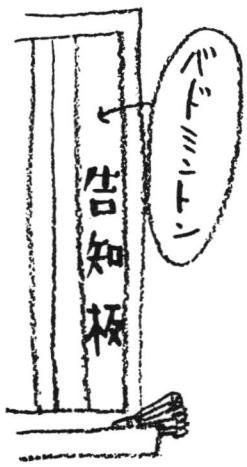
（中田正彦）

全日本実業団選手権が開催不能

湯浅町（和歌山）「財政難」で返上

全日本実業団選手権大会が宙に浮いた――この大会は明年二月、和歌山県有田郡湯浅町（野島一翁町長）で開かれることになっていた。和歌山は明年十月の国体開催県。このため、リハーサルを兼ねて、この野島町に誘置された。返上の理由は〝財政難〟などだが、実際は、今夏、公民館の補助金訴取事件が発覚し、補助金打ち切りの見通しが強まって、これが町財政圧迫につながったもの。

この返上申し入れは、さきごろの日本協会理事会になされた。日本実業団連盟は八月末の会議で前後策を協議、代わりの場所の検討を始めた。



この間のいきさつを七月二十四日付け読売新聞地方版などから見てみると、次のような話になっている。

× × ×

全日本実業団バドミントン選手権大会は、全国から七百人の選手が参加する大きな規模。湯浅町（野島町長は県バドミントン協会長）では約三百万円の予算で、町民をあげて取り組む体制を考えていた。

急に返上を決意させたのは、先月（六月）三〇％しかでき上っていない町公民館を四十四年度末に完工したといつわり、国と県の補助金計五百七十万円を詐取したことが発覚、補助金が打ち切られる見通しが強まったためとみられている。

同町は四十二年度から八年計画で赤字一億五千万円を解消する財政再建途上にあり、公民館補助金がもらえなくなると、財政が圧迫され、大会の地元負担はとても無理。

また準備をふくめ約一週間、町職員百二十人がほとんど総出で運営に協力しなければならず町行政への影響も心配される。

このため、同町では病気入院中の野島町長に代わって出島総務課長が上京、日本バドミントン協会に正式に大会返上を申し入れ、結局、了承された。この間、県バドミントン協会は湯浅町の代わりに県内の他の都市に会場を変更することを検討したが、受け入れ体制が間に合わないなどでうまくいかなかった。

なお、湯浅町は国体については、施設の改善、会場付近の道路舗装などに約一千万円が必要だが「国庫の支出もあるので、開催する」といっている。

吉田健次郎・和歌山県協会理事長の話――国体のリハーサルとして、どうしてもやりたかった。残念だ。こんなことは初めてで責任を感じている。

× × ×

六月二十五日付け朝日新聞地方版から――

湯浅町の公民館補助金詐取事件について、湯浅署は公文書偽造の疑いで村田忠司同町教育長から事情を聞いた。

調べに対し、同教育長は、にせの写真を使ってウソの完工報告書をつくったことを認めた。

地元の〝補助金詐取〟事件たたる

日本実連、代替地の折衝中

全日本実業団選手権は、例年六月に行なわれており、近年は国体の〝リハーサル〟として開かれるのが慣例。

しかし、今回の場合は六月は会場となる学校が授業中で無理があり、夏休みはインターハイ、十一月は町長選挙があるなどのため、本年内は無理だと判断し、年度末の明年二月十七日から二十一日までの五日間と決まっていた。

このような時期になってから正式返上がなされても、急に代わりの会場を見つけるのは困難である。大会を開くには①運営資金②コート③役員の確保が必要であり、とくに、資金が大変。地方自治体はもちろん、地方協会も、年度始めに予算を組む関係上、途中から資金を工面するのは大変な苦労だからだ。

この問題は七月の日本協会全国理事会、評議員会に出されたが、対策を論議するまでにいたらなかった。その後、八月末に日本協会と大会を共催する日本実業団連盟が、会議を開いた結果、目下、香川県の実連と折衝を重ねている。日時は二月の上旬という案。これが成功して、一日も早く問題が解決することを希望したい。

「アウト」と「イン」のゼスチュアを改正

審判委員会

日本協会の審判委は、さきの決定に基き「イン」と「アウト」のコールのさいのゼスチュアについて、別図のように決めた。インは片手、アウトは両手で示すが、サインのポイントは次のとおり。

(一) インの場合

a・どちらの手でもよいから片方の手を斜め下方に出す。

b・五指はそろえる。

(二) アウトの場合

a・両腕を肩の高さにして、いっぱいに開く。

b・五指はそろえる。五指を開くのは好ましくない。

c・手のひらは前方に向ける

d・明瞭に「アウト」とコールする。

これらのサインを、判定のタイミングをよく考え、適切な時期を失せず、明確に、しかも自信をもって行なうように願いたい——と審判委ではいっている。

図 1



インの場合 — いい例

図 2



インの場合 — 悪い例

図 3

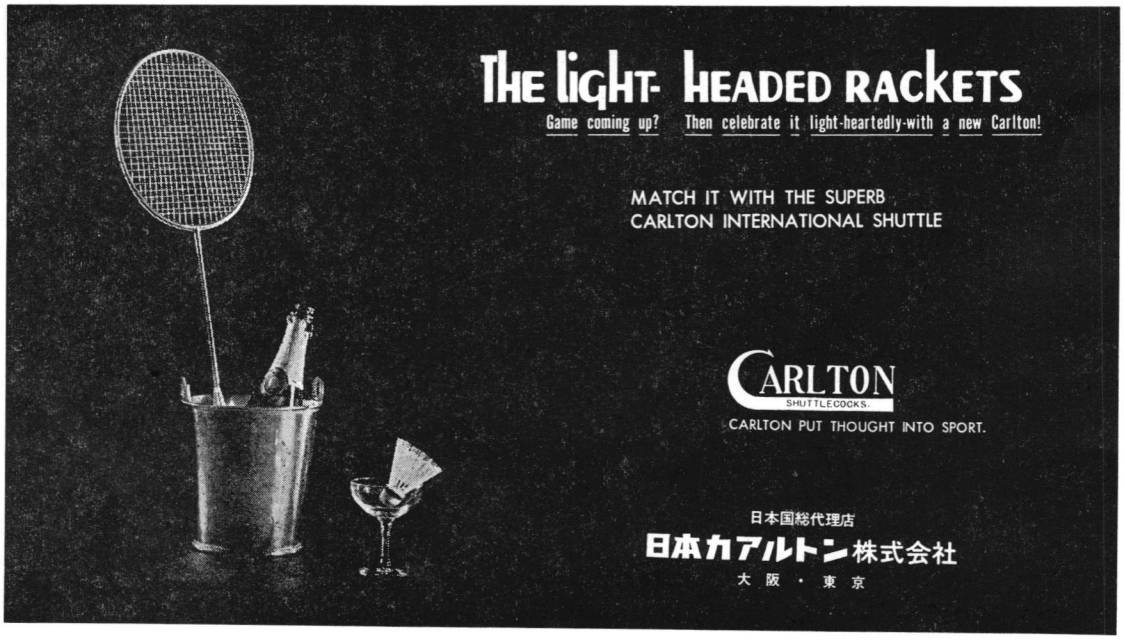


アウトの場合 — いい例

図 4



アウトの場合 — 悪い例



◇第25回国体地区予選

【九州】（8月30日、鹿児島）

◇**高校女子**▽一回戦＜熊本2－1大分▽準決勝＜長崎2－1熊本、福岡2－1鹿児島

▽決勝　長崎2－0福岡

○川本　2（15－7、15－11）0　小浜（鶴鳴女）

○樋口　2（11－4、12－9）0　大庭（長崎商）

◇**高校男子**▽一回戦＜鹿児島3－0大分▽準決勝＜福岡2－1鹿児島、長崎2－1熊本

○大東　2（15－10、15－4）0　佐藤（瓊浦）

○大東　2（15－2、15－5）0　井浦（瓊浦）

◇**一般女子**▽一回戦＜福岡3－0宮崎、長崎2－1大分▽準決勝＜福岡3－0熊本、長崎3－0鹿児島

▽決勝　長崎2－0福岡

○徳永　2（12－15、15－12、15－8）1　古賀（福岡電算機、佳金小倉）

柿本（丸尾中教、三菱重工）丸山

○徳永　2（11－10、11－3）0　丸山（丸尾中教）（佳金小倉）

◇**教員男子**▽一回戦＜福岡2－1大分▽準決勝＜熊本3－0福岡、長崎2－1鹿児島

▽決勝　熊本2－0長崎

○工藤　2（15－8、15－12）0　香島

○芦原　2（15－12）0　春野（南大浦小、鶴鳴女高）

（熊本中央女高、西合志中央小）

○芦原　2（15－7、15－3）0　春野（鶴鳴女高）

（西合志中央小）

【近畿】（8月23日、大阪）

◇**高校女子**▽一回戦＜京都2－0兵庫、奈良2－0和歌山▽準決勝＜大阪2－0京都、奈良2－0滋賀▽決勝＜大阪2－0奈良

◇**高校男子**▽一回戦＜京都2－0滋賀、大阪2－1兵庫▽準決勝＜奈良2－0京都、和歌山2－1大阪▽決勝＜奈良2－0和歌山

◇**一般女子**▽一回戦＜兵庫2－0滋賀、京都2－0奈良▽準決勝＜兵庫2－0大阪、京都2－1和歌山▽決勝＜兵庫2－0京都

◇**教員男子**▽一回戦＜滋賀2－1大阪▽準決勝＜滋賀2－0奈良、和歌山2－0兵庫▽決勝＜滋賀2－0和歌山

【北信越】（8月30日、福井）

◇**高校女子**▽一回戦＜新潟2－1石川▽準決勝＜富山2－0新潟、福井2－1長野

▽決勝　富山2－0福井

○山森　2（15－7、15－6）0　島田

○島田　2（12－10、12－9）0　竹内

◇**高校男子**▽一回戦＜新潟2－0富山▽準決勝＜新潟2－0長野、石川2－0福井

▽決勝　石川2－0新潟

○銭谷　2（9－15、15－2、15－6）1　山田

竹村　竹野

○銭谷　2（15－2、15－7）0　山田

◇**一般女子**▽一回戦＜石川2－0福井▽準決勝＜新潟2－0富山

○相沢　2（15－1、15－3）0　中島

竹中　沼

○相沢　2（11－0、11－1）0　沼

◇**教員男子**▽一回戦＜石川2－0新潟▽準決勝＜石川2－1富山、福井2－1長野

▽決勝＜石川2－0福井

○北原　2（15－7、15－4）0　畑正津

○松本　2（8－15、15－13、15－9）1　山内

【東海】（8月30日、三重）

◇**高校女子リーグ**＜静岡2－0愛知、岐阜2－0愛知、三重2－0愛知、岐阜2－0三重、静岡2－0三重、静岡2－0岐阜＜▽**順位**①静岡3勝0敗②岐阜2勝1敗③三重1勝2敗④愛知3敗

◇**高校男子リーグ**＜静岡2－0岐阜、三重2－1静岡、愛知2－0静岡、三重2－1愛知、愛知2－1岐阜、三重2－1岐阜▽**順位**①三重3勝0敗②愛知2勝1敗③静岡1勝2敗④岐阜3敗

◇**一般女子リーグ**＜愛知2－0静岡、愛知2－0三重、岐阜2－0愛知、岐阜2－0三重、岐阜2－0静岡、静岡2－0三重▽**順位**①岐阜3勝0敗②愛知2勝1敗③静岡1勝2敗④三重3敗

◇**教員男子リーグ**＜三重2－0岐阜、岐阜2－1愛知、静岡2－1岐阜、静岡2－0愛知、三重2－0静岡、三重2－0愛知▽**順位**①三重3勝0敗②愛知2勝1敗③岐阜1勝2敗④愛知3敗

【四国】（8月30日、高知）

◇**教員男子リーグ戦**＜香川3－0愛媛、愛媛3－0高知、香川3－0高知▽**順位**①香川2勝②愛媛1勝1敗③高知2敗

◇**高校男子**▽一回戦＜香川3－0高知、愛媛（棄権）徳島

▽決勝＜香川3－0愛媛

○横田　2（15－1、15－8）0　井上福崎　門屋

○日下　2（15－5、15－2）0　浜中

○横田　2（15－2、15－13）0　門屋

◇**高校女子**＜一回戦＜愛媛2－1高知、香川（棄権）徳島

▽決勝＜香川2－1愛媛

○川本　2（15－3、15－3）0　今島森　田鍋

○森　2（11－4、11－0）0　戸田

○川本　0（4－11、4－11）2　田鍋

◇**一般女子**（申込二県、高知が棄権のため香川が代表）

【関東】（8月15－17日・山梨）

◇**一般男子**

▽一回戦＜神奈川3－0群馬、東京3－0栃木、埼玉2－1千葉、山梨3－0茨城

▽準決勝＜東京2－0神奈川、山梨2－0埼玉

▽決勝＜山梨2－0東京

○秋山　2（15－7、15－3）0　鈴木窪田　池田

○秋山　2（15－8、15－0）0　栂野尾

◇**一般女子**

▽一回戦＜東京3－0茨城、埼玉2－1山梨、神奈川3－0群馬、栃木3－0千葉

▽準決勝＜東京2－0埼玉、

栃木2－1神奈川
▽決勝＜栃木2－1東京
○松本 2 (6－15 11－15 15－10) 0 土井 奈良岡
石崎 1 (11－6 11－6 11－5) 2 土井○
○松本 2 (11－3 11－5 11－5) 1 奈良岡
◇高校男子
▽一回戦＜群馬2－1栃木、東京3－0千葉、埼玉3－0茨城、神奈川2－1山梨
▽準決勝＜群馬2－0東京、神奈川2－1埼玉
▽決勝＜神奈川2－1群馬
滝沢 (6－15 7－15) 2 小林○藤田
小林 0
○折井 2 (15－7 15－12) 0 小林
○滝沢 2 (15－8 15－8) 0 大川
◇高校女子
▽一回戦＜栃木3－0群馬、茨城2－1東京、神奈川3－0千葉、埼玉2－1山梨
▽準決勝＜栃木2－0茨城、埼玉2－1神奈川
▽決勝＜栃木2－0埼玉
○小林 2 (15－3 15－0) 0 大河内 中村
藤井 2
○藤井 2 (11－1 11－0) 0 佐藤

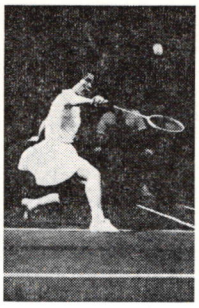
◇教員男子
▽一回戦＜神奈川3－0山梨、群馬2－1茨城、東京2－1千葉、栃木2－1埼玉
▽準決勝＜神奈川2－0群馬、東京2－0栃木
▽決勝＜神奈川2－0東京
○杉田 2 (15－2 15－5) 0 西城 伊藤
中島 2
○杉田 2 (15－7 15－0) 0 伊藤
◇岩手県（6月6日－8日・釜石市）
▽一般男子シングルス準決勝
吉田 (釜石) 2 (15－12 18－13) 0 佐々木彦 (東磐)
金原 (水上) 2 (15－12 15－5) 0 佐々木邦 (江刺)
▽同決勝
○金原 2 (18－16 15－7) 0 吉田
▽一般男子ダブルス準決勝
○佐々木 2 (15－8 15－11) 0 鬼柳 高島 (北上)
佐々木 (東・江)
○伊藤 2 (15－9 15－5) 0 吉田 高橋 (釜石)
金原 (盛・北)
▽一般女子シングルス準決勝
寺島 (盛岡) 2 (11－1 11－0) 0 菊池 (北上)
山内 (盛岡) 2 (12－11 4－11 11－2) 1 斉藤 (東和)
▽同決勝

○山内 2 (8－11 11－8 11－4) 1 寺島
▽一般女子ダブルス準決勝
○菊池 斉藤 2 (15－0 15－0) 0 渡辺 高橋 (胆沢)
○小坂 及川 2 (5－15 15－8 15－2) 0 佐藤 寺島 (盛岡)
▽同決勝
○小坂 及川 2 (15－4 15－4) 0 菊池 斉藤
▽高校男子シングルス準決勝
高橋 (専北) 2－0豊田 (黒北)、佐藤吉 (黒北) 2－0佐藤壮 (岩谷堂)
▽同決勝
○高橋 (専北) 2 (15－0 15－6) 0 佐藤吉 (黒北)
▽高校男子ダブルス準決勝＜佐藤・菊池 (岩谷堂) 2－0佐藤・豊田 (黒北)、高橋・阿部 (専北) 2－0佐々木・菅原 (前沢)
▽同決勝
○高橋 阿部 2 (15－4 15－11) 0 佐藤 菊池 (岩谷堂)
▽高校女子シングルス準決勝
千葉 (前沢) 2－0渋佐 (大槌)、白石 (千厩) 2－1小野寺 (盛市)
▽同決勝

○白石 (千厩) 2 (4－11 11－7 11－6) 1 千葉 (前沢)
▽高校女子ダブルス準決勝＜洞口・伊藤 (釜南) 2－0渋佐・坂本 (大槌)、阿部・城沢 (黒南) 2－0小野寺・斉藤 (盛市)
▽同決勝
○洞口 伊藤 2 (15－15 15－7 15－5) 1 阿部 城沢 (黒南)

【中国】（8月29－30日・岡山）
◇高校男子リーグ戦＜鳥取3－0岡山、山口3－0広島、鳥取2－1島根、岡山2－1山口、山口3－0島根、山口2－1鳥取、岡山3－0広島、鳥取3－0広島、島根2－1広島、岡山3－0島根
▽順位＜①山口（9勝、3勝ち点）②鳥取（9、3）③岡山（8、3）④島根（3、1）⑤広島（1、0）
◇高校女子リーグ戦＜島根3－0鳥取、岡山3－0広島、島根2－1山口、山口3－0広島、鳥取3－0広島、島根3－0広島、岡山3－0鳥取、岡山3－0島根、岡山3－0山口、山口3－0鳥取
▽順位＜①岡山（12勝、4勝ち点）②島根（8、3）②山口（7、2）④鳥取（3、1）⑤広島（0）
◇一般男子リーグ戦＜山口3－0島根、山口3－0広島、岡山3－0広島、岡山3－0山口、岡山3－0島根、広島3－0島根
▽順位＜①岡山（9勝、3勝ち点）②山口（6、2）③広島（3、1）④島根（0）
◇一般女子リーグ戦＜山口3－0広島、鳥取2－1島根、岡山3－0広島、岡山3－0鳥取、広島3－0鳥取、山口2－1島根、広島2－1島根、岡山3－0島根、山口2－1岡山
▽順位＜①山口（10勝、4勝ち点）②岡山（10、3）③広島（5、2）④鳥取（2、1）⑤島根（3、0）
◇教員男子リーグ戦＜島根3－0山口、岡山3－0鳥取、島根3－0鳥取、鳥取3－0（棄権）山口、岡山3－0山口、岡山2－1島根
▽順位＜①岡山（8勝、3勝ち点）②島根（7、2）③鳥取（3、0）④山口（0）

《表　紙》



高木紀子（たかぎ・のりこ）
東海女子短大講師

いまさら、とくに説明を要しない〝バドミントンの女王〟である。

本来なら、もっと早く表紙に登場すべきだったが、撮影のつごうやなにかで、結局、おくれてしまい、ご本人には申しわけなく思っている。

ユーバー杯主将として、日本の世界タイトル初防衛の立て役者となったのが昨年六月。

それからは、なにかにつけて多忙の身となり、トレーニング不足か、三月の欧米遠征で負傷、ア大会選考会でも敗れるなど、選手として、やや精彩を欠くのはおしい。

しかし、全日本教職員大会では、本号で報道されたとおり、三冠王となり、個人七連勝。岩手国体でも岐阜代表として姿を見せる。

目下、日本協会競技の向上委員としても活躍している。

読者の傑作写真を募集

最近、読者や関係者からのお便りが、しだいに多くなり、編集部一同、喜んでいます。

そこで、記事内容のいっそうの充実を期するため、記事をお寄せ下さる方に、次の事項を盛り込んで下さるよう、お願いします。

◎五つのWと一つのH（いつ、どこで、だれが、なぜ、なにを、なぜ）の要点。日付けや人名、記録などは、なるべく正確にお願いします。

◎記録などの場合も、片一方の準決勝のスコアがなかったりして、不明のまま載せなければならないことがあります。

◎内容がストーリーのような場合には、経過的なことを、具体的な例で、なるべく、くわしく書き込んで下さい。

× × × ×

読者の皆さんから、傑作写真を募集します。

現在、本誌の専門カメラマンはごく少数で、行動半径も限られています。大きい大会では、できるだけ関係者に写真もお寄せ願っておりますが、まだ充分とはいえません。

題材については、いっさい制限しません。町で拾った話題、教室、大会のもよう、なんでもけっこうです。

皆さんからの寄稿写真で、年に二度ぐらいは特別グラフを組んでみたいと思います。

採用の分には薄謝を呈します。

近く連続写真実現

十月はじめに、連続写真の撮影を計画しています。さきに「読者の広場」でお知らせしたとおり、こうしたものを中心に、写真中心の号を一度出す計画です。ご期待下さい。

継続お申し込みを早く

継続お申し込みの手続きが、まだ、すんでいない方があります。順次、個人あてにご連絡申しあげておりますが、お忘れの方もあるようです。創刊号からの方は第十三号、二号からの方は第十四号から、忘れず、もう一度払い込みをお願いします。

ラスト・コーナー

次号予告を書くのは、気が重い。毎号、きまって一部予定が変更されるという結果を招くからだ。

さて、今日は、比較的、安全なものを、まず、お知らせしよう。

競技会が二つ。ひとつはアジア大会の代表選考会。競技が二日間にわたって行なわれ、男女各六人が、合宿入りの候補となった。本号では、そこまでを追いかけ、大会のもよう、選考事情、今後の見通しなどについて報道する。

一方、第十三号でお知らせしたように、デンマークからコプス選手が来日、各地で妙技を披露したので、これを総まくり、反響はどうだったかを取り上げる。

写真グラフは、もちろん、ア大会選手会からのシーン。

用具の話はラケットの第二回、扱い方について。

スポーツ界一般の話題では、アマチュア問題のほか、近く施行されるスポーツ傷害保険や全国で行なわれる三級トレーナー認定問題、学校解放、国立大学を会場とするスポーツ教室、目でみるバドミントンの地位など。

次号予告

ラスト・コーナー

編集後記

最近、日本協会とか日本体育協会を〝解説〟するコラムが多くなったことに、お気付きだろうか。

これは、バドミントンが、どのような組織になっており、スポーツ界の中で、どのように位置づけされ、他と関連をもって動いているかを理解してもらうための企画だ。今後も、折りあるごとに、触れていきたい。

読者から要望の多かった用具についての話がスタートした。筆者・松本先生も張りきっているので、乞う、ご期待。

教職員大会、西日本学生の写真、手に入らず、本号はグラフを組めずじまい。あしからず。

ラスト・コーナー

【バドミントン界】第14号
昭和45年9月25日　印刷
昭和45年10月10日　発行
編集兼発行人　川端昇市
発行所　東京都渋谷区神南一の二の一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会
電話　四六七・三一一一（内線）二五一
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都江東区永代一の五の二
有限会社　和田印刷所
定価　一部　百円

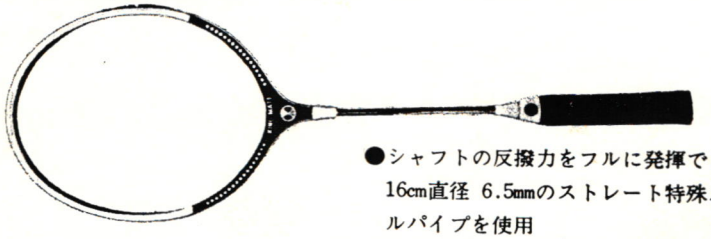
反撥力 抜群！

ストレート特殊スチールパイプで
シャフトの効果が倍増されました
あなたのプレイが注目の的です

新製品 No.3500 キングメイト

KING MATE





●シャフトの反撥力をフルに発揮できる全長16cm直径 6.5mmのストレート特殊スチールパイプを使用

●小銀杏構造と輸入木材を基にした革命的な特殊合板でバランス、耐久力は抜群

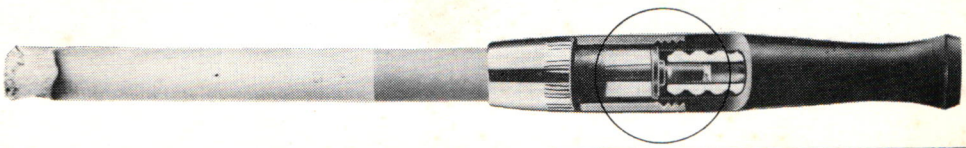
サンバタ
株式会社 諸江製作所 東京都渋谷区笹塚2丁目46番8号
電話 (377) 4401 (代表)

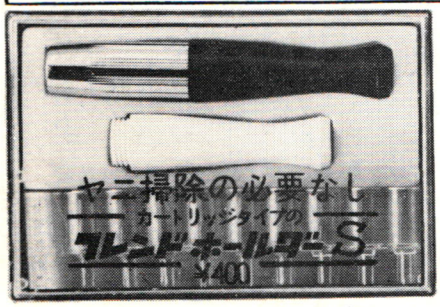
月刊「バドミントン」
第十四号
昭和四十五年十月一日発行
昭和四十四年十二月二十三日（毎月一回一日発行）
第三種郵便物認許
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会
定価百円



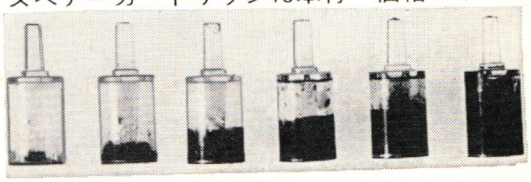
華麗なる紫煙を
フレンドホルダーで!!

ヤニ掃除の必要がなくなりました――《有害タール》を約90%もとるパイプです





カートリッジタイプの
フレンドホールダーS
スペアーカートリッジ10本付・価格―¥400



PAT. NO. 800395/PAT. P. NO. 42. 44127·43. 22729

フレンドホールダーSS　フレンドホールダーSL　フレンドホールダーS ブライヤー本象牙

たばこ店・デパート・薬局・喫煙具店・駅主要売店にて発売中

発売元
テラサキ株式会社
東京都江戸川区興宮町43